NEC

Aterm®
IW50/D 取扱説明書

ISDNターミナルアダプタ

Aterm IW50/D (PC-IW50/D1A)

■輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどはおこなっておりません。

■ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。

（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

（4）本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

（5）Atermは初の停電機能を持たせるなど、災害時に於いてのライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。添付の取扱説明書をよくお読みになり記載されている注意事項を必ずお守りください。

Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
Netscape Navigatorは米国Netscape Communications Corporationの登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。
AmLINK3©AMD

©NEC Corporation 1999
日本電気株式会社の許可なく複製、改変などをおこなうことはできません。

はじめに

このたびは、AtermIW50/D（エータームアイダブリュ）をお買い上げいただきありがとうございます。
AtermIW50/Dは、NTT東日本、NTT西日本のISDN網「INSネット64」にパソコンや電話機、ファクス、モデムなどを接続するためのターミナルアダプタです。
また、PHSを利用したワイヤレス通信機能を搭載し、別売のワイヤレス子機（AtermRS10，AtermRS20、AtermRC25など）を収容したり、PHSを家庭のコードレス電話機として収容したり、PHSとデータカードを使ったワイヤレスデータ通信などをサポートすることで簡単にワイヤレスネットワークを構築できます。

本装置をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

※ 子機（PHSやリモートステーションなど）の増設登録（ID登録）は、お近くのNECサービスステーションまたはPCクリーンスポット、お買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでご相談ください。

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

危　険： 人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警　告： 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注　意： 人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い： 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

■ 絵表示の例

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 危険

ニカド電池パック使用時

● **電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。**
- 充電は、Aterm 以外ではおこなわないでください。
- 電池パックは、コネクタの向きが決められています。Atermに接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。
- 電池パックを単体では充電しないでください。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。
- 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 直接ハンダ付けをしないでください。
- 電池パックを分解、改造しないでください。
- 電池パックを金属製品と一緒に持ち運んだり保管したりしないでください。
- 電池パックのコードはショートさせないように注意してください。また、プラスとマイナスを針金などの金属類で接続しないでください。

● **電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。**

アルカリ乾電池使用時

● **アルカリ乾電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分に洗ったあと直ちに医師の治療を受けてください。**

⚠ 警告

設置場所

● **風呂、シャワー室への設置禁止**
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

● **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

電源

● **商用電源以外の使用禁止**
AC100V の家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● **電源コードの取扱注意**
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、ご購入店または NEC サービスステーションに修理をご依頼ください。

● **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

● **たこ足配線の禁止**
本装置の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

ニカド電池パック使用時

● **電池パックの外装チューブをはがしたり、傷つけたりしないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。**

● **電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。**

● **電池パックを水や海水につけたりぬらしたりしないでください。電池パックが発熱したり、さびの原因となります。**

● **液もれ、変色、変形、その他今までと異なることに気がついたときは使用しないでください。**

● **本装置の安全性の劣化につながる使用の禁止**
ニカド電池コネクタの充電端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。また、充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。

⚠ 警告

アルカリ乾電池使用時

- **電池の（+）と（−）を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。**
- **新しい電池と一度使用した古い電池、種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。**
- **この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。**
- **電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。**
- **ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。**
- **万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。**
- **電池を入れるとき、電池の外装ラベルを傷つけないでください。電池がショートし、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。**

こんなときは

- **発煙した場合**
  万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。
- **水が装置内部に入った場合**
  万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

こんなときは

● **異物が装置内部に入った場合**
本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● **電源コードが傷んだ場合**
電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。

● **破損した場合**
万一、落としたり破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止事項

● **分解・改造の禁止**
本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● **ぬらすことの禁止**
本装置に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

● **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で本装置を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意

● **使用禁止区域での注意**
航空機内や病院内などのPHS端末の使用を禁止された区域では、本装置の電源を切ってください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因となります。

⚠ 警告

その他のご注意

● **ペースメーカを装着されている方の注意**
植え込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本装置をペースメーカ装着部から 22cm 以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。

● **異物を入れないための注意**
本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

設置場所

● **火気のそばへの設置禁止**
本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● **温度の高い場所への設置禁止**
直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● **不安定な場所への設置禁止**
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● **通風孔をふさぐことの禁止**
本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

・あお向けや逆さまにする
・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

⚠ 注意

電源

● **プラグの取扱注意**
電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **移動させるときの注意**
移動させる場合は、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグをコンセントから抜いて外部の接続線をはずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **アース線の取付**
万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

● **長期不在時の注意**
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、停電用電池も取り外してください。

● **電源プラグの清掃**
電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に１回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

ニカド電池パック使用時

● **電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。**

● **電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。**

⚠ 注意

アルカリ乾電池使用時

● **下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えると液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。**

・使用推奨期限の単 3 アルカリ乾電池をお使いください。
（アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。）
・停電がなくても、1 年に 1 度の割合で新しい電池と交換してください。長期間のあいだ電池を装着したままでご使用になると電池が漏液するおそれがあります。
・電池を保管する場合及び廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。
・電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。
・電池を入れた電池ホルダ側の側面を、発熱する機器の近くや直射日光・高温・高湿の場所に置かないでください。
また、通風孔をふさがないでください。漏液、発熱、破裂のおそれがあります。
・使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
過放電、高温放置による電池の液漏れでの装置の故障については当社は保証いたしかねます。
・電池に直接ハンダ付けをしないでください。
・電池を取りはずした場合は、小さなお子様が電池をなめたり、あやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。

禁止事項

● **乗ることの禁止**
本装置に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

● **本装置のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。**

その他のご注意

● **雷のときの注意**
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

STOP お願い

設置場所

- **本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- **本装置を一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **親機（本装置）と子機（PHS、リモートステーション）間で電波の届く範囲は見通しで約100mです。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。また距離が近すぎると、通話にノイズが入ったりデータ通信でエラーが発生する場合があります。**
- **本装置とコードレス電話機の距離が近すぎると通話が切れる場合があります。またコードレス電話機にノイズが入る場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上はなしてお使いください。**
- **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本装置の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

禁止事項

- **動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。**

その他のご注意

- **本装置プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。**

日ごろのお手入れ

- **汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。**

本書について

本書は以下の構成になっています。

第1編	**Atermを使えるようにする**	Atermでできることや使う前の準備、ひととおり使えるようにするまでの手順を説明します。
第2編	**Atermを活用しよう　ー機能編ー**	さまざまな電話機能・通信機能について紹介します。
第3編	**Atermを活用しよう　ー設定編ー**	Atermを活用するための設定方法を説明します。
第4編	**困ったときには**	思いどおりに動作しない場合の解決方法やお問い合わせ、アフターサービスについてご案内します。
第5編	**付録**	ATコマンドの一覧やオプション品、INSネット64のお申し込みについて掲載しています。

目　次

はじめに 1

安全に正しくお使いいただくための表示について 1

安全に正しくお使いいただくために 2

危険 2
警告 2
注意 6
お願い 8

本書について 10

第 1 編　Aterm を使えるようにする 19

1．ご使用の前に 20

1-1．Aterm でできること 21

AtermIW50/D に AtermRS20 を増設登録して使用する 22
AtermIW50/D に PHS を増設登録して使用する 22
増設登録した PHS と PHS カードを合わせて使用する 23
複数台の AtermRS20 を増設登録して使用する 23

1-2．お使いになる前に 24

回線の確認をする 24
子機としてリモートステーション、マルチモバイルカード、PHS を使うには 25
PHS を使うには 25
複数の電話番号を使うには 26
インターネットに接続するには 26

1-3．箱の中身を確認する 27

1-4．各部の名前とはたらき 28

前 面 28
背 面 30
底 面 31

2．Aterm の設置と接続 32

2-1．接続する電話機を確認する 33

ダイヤル種別と電話機の確認 33
電話機を複数台接続するには 33
電話機接続コードについて 34

2-2．Aterm を接続する 35

停電対策をする 36
電話機／ファクスを接続する 38
INS ネット 64 を接続する 39
アンテナを立てる 39
パソコンを接続する 40
電源を接続する 41
接続を確認する 42

2-3．カレンダ設定をする 44
日付・時刻の設定 44
2-4．使用しないアナログポートを設定する 45
2-5．電話が使えるか確認する 46
電話をかける 46
電話を受ける 47
2-6．PHS が使えるか確認する 48
PHS で電話をかける 48
PHS で電話を受ける 48

3．電話を使う、インターネットに接続する 49

3-1．Aterm を利用するまでの流れ 50
添付ユーティリティの紹介 50
設定の流れ 51
3-2．Windows®98/Windows®95/WindowsNT®4.0 をご利用の方は 54
らくらくウィザード / らくらくユーティリティをインストールする 54
らくらくウィザードで設定する 56
インターネットに接続する 59
プロバイダとの接続を確認する 62
3-3．Macintosh をご利用の方は 65
らくらくユーティリティをインストールする 65
電話番号を登録する 65
アナログポートを設定する 68
設定を保存する 68
インターネットに接続する 69
プロバイダとの接続を確認する 72
3-4．電話機のみをご利用の方は 74
接続機器の設定をする 74
i・ナンバーを契約している場合 75
ダイヤルインを契約している場合 79

第 2 編　Aterm を活用しよう　ー機能編ー 85

1．さまざまな電話機能 86

1-1．PHS を使うとき 88
PHS の登録 88
PHS で電話をかける 89
PHS で電話を受ける 89
1-2．電話をかけるとき 90
電話をかける 90
短縮ダイヤルで電話をかける 91
自分の電話番号を相手に知らせる 92
相手に知らせる電話番号を指定する 94
内線で話す 95
三人で同時に話す 96
受話音量を変える 99

リモートステーションからモデム通信する 100
かけてきた相手の電話番号を見る／かけ直す 101

1-3. 電話を受けるとき 103
電話を受ける 103
着信するアナログポートに優先順位をつける 103
話し中に別の電話を受ける 104
受ける電話番号を特定する 107
特定の電話番号の呼出音を変える 108
話し中にかかってきた特定の電話だけを受ける 109
特定の電話機だけに着信させる 110
受けたくない電話番号からの着信を拒否する 111
モデム・ダイヤルイン機能を利用する 112
アナログ・ダイヤルイン機能を利用する 113

1-4．電話を転送するとき 114
内線電話へ転送する 114
別の電話番号へ転送する 115
電話中に別の電話番号へ転送する 116
特定の電話を別の電話番号へ転送する 117

1-5．お出かけ／おやすみになるとき 118
電話機の呼出音を鳴らさない 118
別の電話番号へ転送する 120
INS ボイスワープを使って電話を転送する 121
呼出音を鳴らさずにボタンを点滅させる 123

1-6．INS ネット 64 付加サービスを利用するとき 124
i・ナンバーを利用する 124
ダイヤルインサービスを利用する 125
INS ボイスワープ／INS ボイスワープ・セレクトを利用する 127
フレックスホンサービスを利用する 128
INS なりわけサービスを利用する 129
INS ナンバー・ディスプレイ／INS ナンバー・リクエストを利用する 129
キャッチホン・ディスプレイを利用する 130
サブアドレスで特定の電話機に着信する 132
HLC が一致する相手と通信する 134

2．さまざまな通信機能 135

2-1．ワイヤレスデータ通信するとき 136
ワイヤレスデータ通信の種類 136
リモートステーションでデータ通信をする 138
PHS でデータ通信をする 138
内線データ通信をする 139
ファイルの共有をする 140

2-2．データポートでデータ通信するとき 142
非同期 / 同期 PPP 変換 142
128kbps マルチリンク PPP の BOD 機能を利用する 143
スティルスコールバックを利用する 146
応答平均化を利用する 148
無通信監視タイマを利用する 148
強制切断タイマを利用する 149
CTI を利用する 149

2-3．Atermのメール機能を利用するとき 150
メールサービスについて 150
ご利用の条件 151
UUIメールEXを使うには 153
Windows98/Windows95/WindowsNT4.0 153
Macintosh 158
テレホンUUIメール／テレホン遊遊メールを使うには 162

第3編　Atermを活用しよう　ー設定編ー 171

1．Windows®98/Windows®95/WindowsNT®4.0で設定する .. 172

1-1．らくらくユーティリティをインストールする 173
らくらくユーティリティの起動 173
らくらくユーティリティの終了 173

1-2．アナログポートを設定する 174
アナログポートの設定 174
アナログポート / 無線ポートの共通設定 177

1-3．データポートを設定する 178
データポートの設定 178

1-4．無線ポートを設定する 181
無線ポートの設定 181

1-5．電話番号を設定する 183
電話番号テーブル 183
電話帳の登録 184

1-6．さまざまな情報を見る 186
通信状況の表示 186

1-7．設定値を初期化する 187
設定値の初期化 187

1-8．らくらくユーティリティの削除 188
アンインストーラの実行 188

2．Macintoshで設定する 189

2-1．らくらくユーティリティをインストールする 190
らくらくユーティリティの起動 190

2-2．アナログポートを設定する 191
共通設定 191
アナログポートの詳細設定 194

2-3．無線ポートを設定する 196
無線ポートの設定 196
無線ポートの詳細設定 196

2-4．データポートを設定する 198
データポートの共通設定 198
データポートの詳細設定 198
BOD機能の設定 199

データポートの信号制御の設定 200
2-5．設定値を初期化する 201
設定値の初期化 201
2-6．さまざまな情報を見る 202
通信状況の表示 202
3．電話機で設定する 204
3-1．アナログポート / 無線ポートを設定する 205
設定のしかた 205
設定項目一覧 206
3-2．その他の設定 211
設定を初期値にもどす 211
液晶ディスプレイのバックライトを設定する 212
迷惑電話に登録する 213
Aterm のディスプレイで情報を見る 214
第 4 編　困ったときには 215
1．困ったときの Q&A 216
正常に動作しない原因がよくわからない 216
電源を入れたとき 216
電話が使えないとき 218
PHS が使えないとき 221
リモートステーションが使えないとき 223
お出かけ設定ができないとき 225
ファクス通信ができないとき 225
モデム通信ができない、速度が出ないとき 226
らくらくウィザード、らくらくユーティリティ、
らくらくバージョンアップが起動しないとき 227
データ通信ができないとき 228
インターネットがうまくいかないとき 229
接続はするが通信がおかしいとき 233
通話・通信を終了したとき 233
電源を切ったとき 233
停電時に動作しないとき 234
累積料金と実際の料金が異なるとき 234
添付 CD-ROM のメニュー画面をもう一度出したいとき
（Windows98/Windows95） 234
購入したときの状態にもどしたいとき 235
海外で使用したいとき 235
ハイパーターミナルで接続を確認する（Windows98/Windows95） 236
2．お問い合わせ・アフターサービスについて 239
2-1．Aterm についてのお問い合わせは 239
FAX 情報サービス 239
インフォメーションサービス 240
ホームページ「AtermStation」 240

2-2．Atermの設定を依頼したいときは 241
「訪問サポート」のサービス内容 241
PC クリーンスポット 243
2-3．アフターサービスについて 244
修理と現地調整・保守契約 244
現地調整・保守契約を依頼される場合 248

3．AtermIW50/D に接続したパソコンで インターネットの接続がうまくいかなかったとき 249
3-1．Windows®98/Windows®95 で接続する 249
モデム情報をインストールする 249
ダイヤルアップを設定する 252
ネットワークプロトコルを設定する 254
プロバイダを設定する 255
プロバイダとの接続を確認する 258
ホームページを見る 259
PHS でインターネットに接続する 260
3-2．WindowsNT®4.0 で接続する 262
モデム情報をインストールする 262
リモートアクセスサービスを設定する 264
プロバイダを設定する 266
プロバイダとの接続を確認する 269

第 5 編　付録 271

1．ファンクションボタンでの操作 272
着信履歴表示 272
着信履歴先発信 273
履歴先発信する電話機の指定 274
累積料金表示 275
累積料金の初期化 276
設定の初期化 277
通信速度の切り替え 278

2．自己診断 279
試験のしかた 279

3．AT コマンド 281
AT コマンドの使い方 281
AT コマンドの構成 282
AT コマンド一覧 284
S レジスタ 306
リザルトコード 307

4．液晶ディスプレイの表示 310
絵文字（ピクトグラム） 310
電源を入れた後の表示 310
通信状態の表示 311

でかけるボタンロック 312
お出かけ設定時の表示 313
INS ナンバー・ディスプレイを利用しているときの表示 313
ディスプレイ表示の切り替え 314

5．切断理由／診断情報／生成源表示一覧 315
切断理由表示 315
診断情報表示 317
生成源表示 318

6．Aterm をバージョンアップする 319
6-1．Windows®98/Windows®95/WindowsNT®4.0 で バージョンアップする 319
バージョン情報を見る 319
ファームウェアをダウンロードする 319
バージョンアップを実行する 320
6-2．Macintosh でバージョンアップする 322
バージョン情報を見る 322
ファームウェアをダウンロードする 322
バージョンアップを実行する 323

7．AtermIW50/D 製品仕様 324
AtermIW50/D 機能一覧 324
AtermIW50/D 仕様一覧 326
設定スイッチ 327
D-SUB 9 ピンインタフェース 328

8．ホームテレホン／ビジネスホンとの接続 329

9．別売オプション 330
S 点ユニット 330

10．INS ネット 64 のお申し込みについて 331
INS ネット 64 お申込票の記入のしかた 331
Aterm をご利用いただく上でお申し込みが必要な項目 332

11．Aterm 設定の控え 334
設定記入シート 334
データ通信設定一覧 340

12．用語集 341

索引 345

第1編

Atermを使えるようにする

1．ご使用の前に‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥20
2．Atermの設置と接続‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥32
3．電話を使う、インターネットに接続する‥49

1．ご使用の前に

この章では、Atermのご紹介やお使いになる前に確認していただきたいことを記載しています。

Aterm でできることのご紹介

▼

ご使用になる前の確認事項や注意事項

▼

添付品の確認

▼

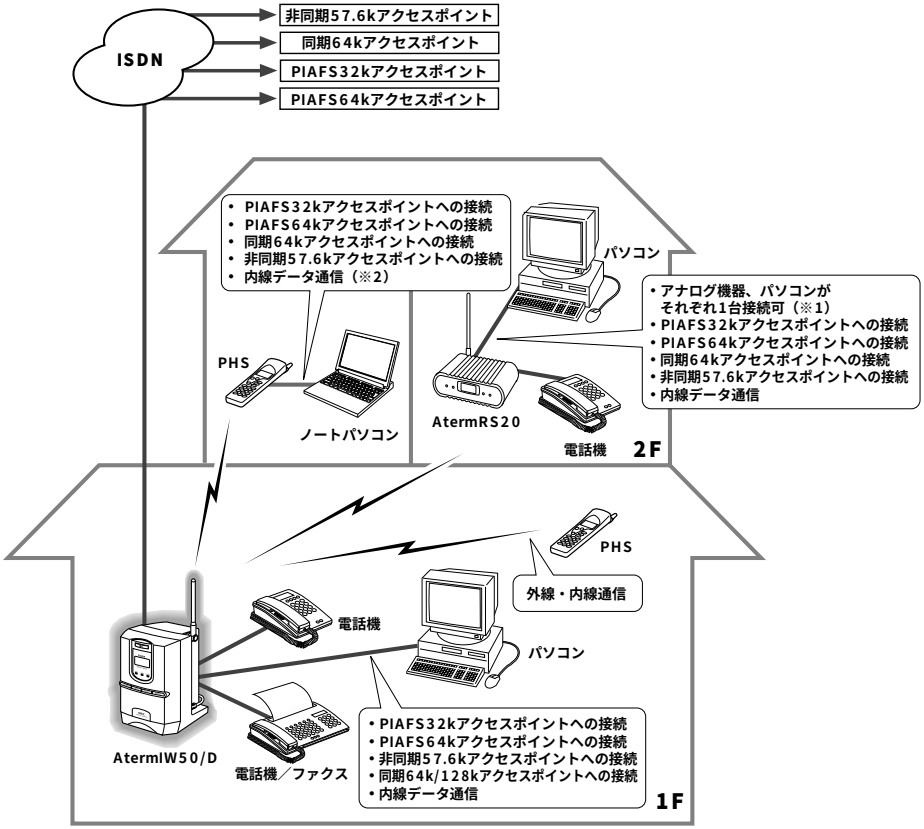
Aterm 各部のなまえとはたらき（表示ランプについて）

Windows®98 は Microsoft® Windows®98 operating system の略です。
Windows®95 は Microsoft® Windows®95 operating system の略です。
WindowsNT®4.0 は Microsoft® WindowsNT® operating system Version 4.0 の略です。

1-1．Atermでできること

AtermIW50/D単体で使用する以外に、AtermRS20、AtermRC25やPHSを増設登録（ID登録）して使用することができます。

- **AtermIW50/Dに AtermRS20を増設登録して使用する**
- **AtermIW50/Dに PHSを増設登録して使用する**
- **増設登録したPHSと PHSカードを合わせて使用する**
- **複数台の AtermRS20を増設登録して使用する**



※1 データポートとアナログポートは同時使用不可
※2 内線データ通信できないPHSがあります

お知らせ

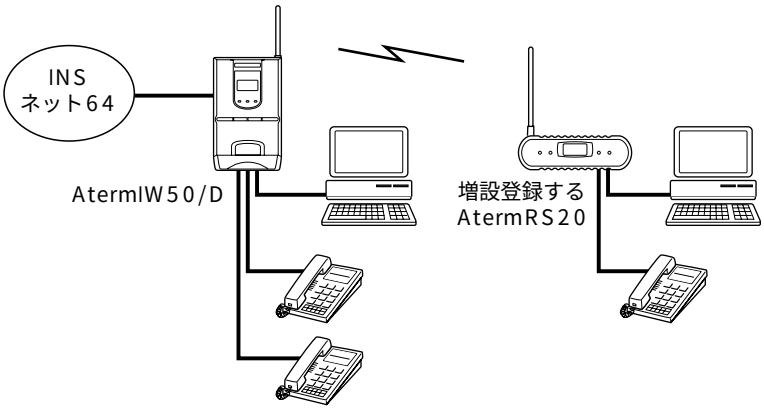
- AtermIW50/DからAtermRS20、AtermRC25やPHSなどの子機に電波が届く範囲は、間に障害物が何もない状態で約100mです。設置環境によっては100m以内でも電波が届かない場合がありますので、電波の届く範囲でご使用ください。また AtermIW50/D と子機との間に、防音壁、鉄筋壁や断熱壁などがある場所では、電波の届く距離が短くなります。

お願い

- AtermIW50/D以外のワイヤレスセット、AtermRS20、AtermRC25やPHSの使い方については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

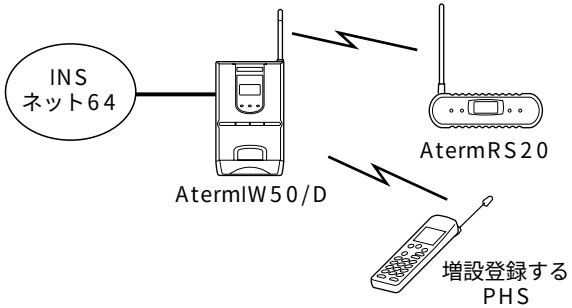
AtermIW50/D に AtermRS20 を増設登録して使用する

AtermIW50/D に AtermRS20 を増設登録して使用することができます。



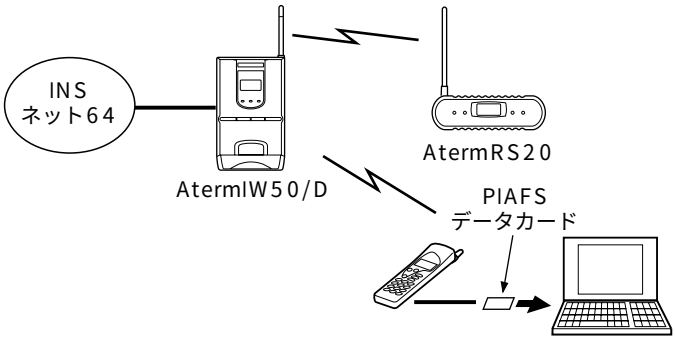
AtermIW50/D に PHS を増設登録して使用する

AtermIW50/D に別に用意した PHS を増設登録して使用することができます。



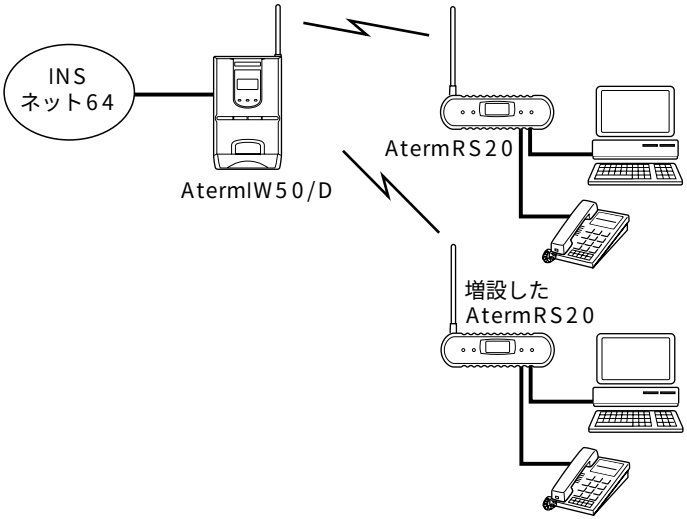
増設登録したPHSとPHSカードを合わせて使用する

増設登録したPHSとPHSカードを使用して、パソコンからインターネットに接続することができます。



複数台のAtermRS20を増設登録して使用する

複数台のAtermRS20をAtermIW50/Dに増設登録して電話やインターネットに接続することができます。



1-2．お使いになる前に

Atermの設置前に以下のことを確認してください。

回線の確認をする

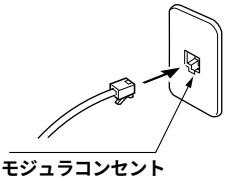
■ **接続する回線はINSネット64ですか？**

切り替えてからご使用ください。

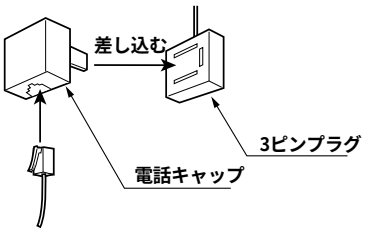
■ **回線用コンセントはモジュラタイプですか？**

回線用コンセントの形状によっては、そのままでは接続できない場合があります。形状をご確認ください。

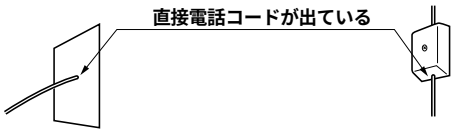
そのまま接続できます



電話キャップを別に購入する必要があります



工事を依頼する必要があります



お願い

● INSネット64の契約がお済みでない場合は、第5編「9.INSネット64のお申し込みについて」（→ P.331）を参照し、申し込んでください。

子機としてリモートステーション、マルチモバイルカード、PHS を使うには

■ 子機の増設登録（ID 登録）は済んでいますか？

AtermIW50/D の子機として PHS やリモートステーション、マルチモバイルカードを使うには、それぞれに増設登録（ID 登録 有料）する必要があります。
増設登録は NEC サービスステーション（→P.245）または販売店、PC クリーンスポット（→P.243）で実施しております。販売店によっては受け付けていない場合がありますので、電話でご確認ください。

お知らせ

- AtermIW50/D の子機として増設登録できるのは合計 6 台までで、次のようになります。
  - ○ PHS　最大 6 台（内線番号：91・92・93・94・95・96）
  - ○ AtermRS20　最大 6 台（内線番号：91・92・93・94・95・96）
  - ○ AtermRS10　最大 3 台（内線番号：91・93・95）
  - ○ AtermRC25　最大 6 台（内線番号：91・92・93・94・95・96）
- ワイヤレスセットの AtermRS20 は、あらかじめ同梱の AtermIW50/D の無線 A ポートに登録済ですので、増設登録する必要はありません。
- AtermRS20 や AtermRS10 などを「リモートステーション」と呼びます。
- AtermRC25 などを「マルチモバイルカード」と呼びます。

PHS を使うには

■ 対応機種の確認

AtermIW50/D の子機として使用できない PHS があります。ご使用になる PHS の機種を確認してください。接続できる機種については、ホームページ「AtermStation」（http://aterm.cplaza.ne.jp）、または FAX 情報サービス（第 4 編「Aterm についてのお問い合わせは」→P.239）で確認できます。ホームページでは、順次確認できた機種を紹介しています。

■ 待ち受けモードの設定

Aterm に増設登録した PHS を使うには、PHS の待ち受けモードを「オフィスモード」（構内モード）に設定します。オフィスモードを含むデュアルモードやオートモードでも使用できます。
設定方法については、PHS の取扱説明書をご参照ください。

お知らせ

- 同じ Aterm に登録された複数の PHS は、トランシーバモードに設定すると屋外でトランシーバとして使用できます。
- PHS のオフィスモードごとに 1 台ずつ親機を登録すると、1 台の PHS を複数の Aterm に登録することができます。

お願い

- AtermIW50/D にすでに登録済みの同一の PHS を登録しないでください。

複数の電話番号を使うには

複数の電話番号を Aterm に接続した機器に割り当てて呼び分けるには、INS ネット 64 の付加サービスの「**i・ナンバー**」（→ P.124）または「**ダイヤルインサービス**」（→ P.125）の契約をしてください。

インターネットに接続するには

インターネットを利用するには、以下の準備とソフトウェアが必要です。
インターネットの接続の設定は、プロバイダに指定された内容を設定します。

■ プロバイダとの契約

インターネット接続代行業者（プロバイダ）と契約します。契約は書面で申し込む方法と、パソコンから電話回線を通じて申し込む方法（オンライン・サインアップ）があります。
契約するとインターネットに接続するための設定の情報が提供されます。
オンラインサインアップのしかたなど、詳細はプロバイダへお問い合わせください。

■ ネットワーク設定用ファイル

Windows®98/Windows®95/WindowsNT®4.0はTCP/IPとダイヤルアップの設定、Macintosh は TCP/IP と PPP の設定が必要です。お使いのパソコンに上記の設定用ファイルがあるか確認してください。ない場合はあらかじめインストールしておいてください。
詳細はお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ ホームページを表示するソフトウェア

ホームページを見るにはブラウザソフトが必要です。『Internet Explorer（インターネット・エクスプローラ）』や『Netscape Navigator（ネットスケープ・ナビゲータ）』が代表的なブラウザソフトです。これらはパソコンに添付されている場合もありますので、確認してください。
詳細は各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

■ 電子メールを送受信するソフトウェア

電子メールを利用するには電子メールソフト（「メーラー」ともいいます）が必要です。『Outlook Express（アウトルック・エクスプレス）』や『Eudora（ユードラ）』が代表的な電子メールソフトです。Outlook Express はパソコンに添付されている場合もありますので、確認してください。
詳細は各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

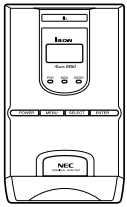
お知らせ

- プロバイダの契約がお済みでない場合は、『IW50 らくらくウィザード』（Windows 98/Windows95 のみ）の設定の中で NEC の運営するインターネットプロバイダ『BIGLOBE』にオンライン・サインアップをすることができます。

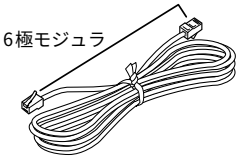
1-3．箱の中身を確認する

箱を開けたら、次のものがそろっているか確認してください。不足しているものがありましたら、お買い求め先の販売店にご連絡ください。

AtermIW50/D本体

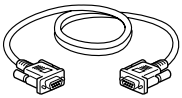


INS回線ケーブル（3m）



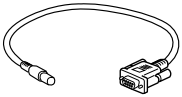
●INSネット64と接続時に使用

RS-232Cケーブル（9ピン）



●データポートと接続時に使用

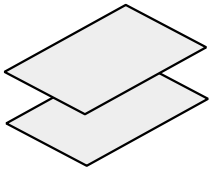
Mac変換ケーブル



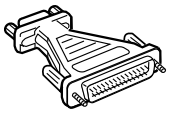
●Macintoshと接続時に使用

ユーザ登録ガイド

保証書

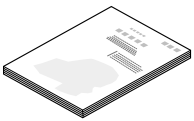


25ピン変換コネクタ

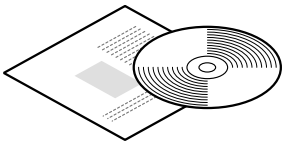


●PC-9800シリーズのパソコンと接続時に使用

取扱説明書（本書）



CD-ROM「AtermIW50シリーズユーティリティ集」



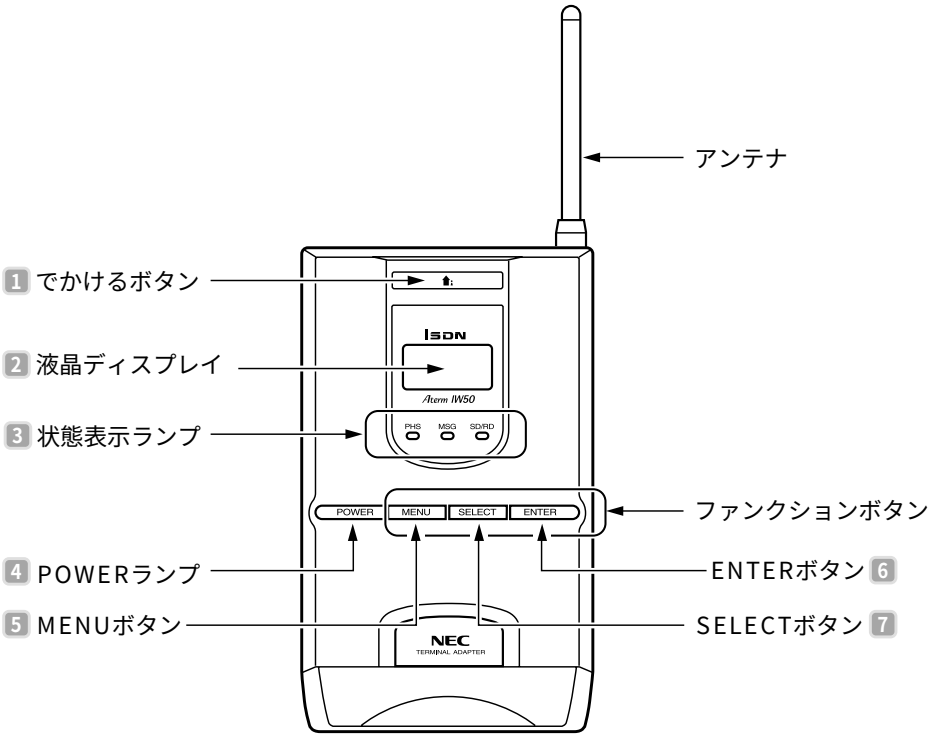
●パソコンで設定するためのソフトウェアを収録

お願い

● AtermIW50 ワイヤレスセットの添付品については、AtermIW50 ワイヤレスセットの取扱説明書を参照してください。

1-4．各部の名前とはたらき

前面



1 でかけるボタン

お出かけ設定（→P.118）をするときに押します。

点灯：お出かけ設定にしているとき

消灯：お出かけ設定が解除のとき

点滅：お出かけ設定をセット中に電話がかかってきたとき

○ おやすみモードのとき：いったん着信があると、その後お出かけ設定ランプは点滅したまま

○ フラッシュモードのとき：着信があったときのみ点滅

2 液晶ディスプレイ

回線や通信機器の使用状況、設定内容、日時などを絵文字（ピクトグラム）やメッセージで表示します。（→P.310）
出荷時は、保護シート（ポリエチレンフィルム）が貼ってあります。

着信転送が設定してあるときに表示されます。

A B アナログA／Bポートに接続された通信機器の受話器を上げているときに表示されます。

データポートを使用したデータ通信中に表示されます。

1つのBチャネルで通信中（64kbps）

2つのBチャネルで通信中（128kbps）

B1 B2 B1チャネル／B2チャネルを使用中に表示されます。

RDY データポートに接続されたパソコンのER（Equipment Ready）信号がONのときに表示されます。

3 状態表示ランプ

● PHS

緑色点灯：無線通信が可能なとき

緑色点滅：無線回線を1チャネル使用しているとき

赤色点滅：無線回線を2チャネル使用しているとき

※ ワイヤレス子機やPHSが増設登録がされていないときは、赤色に点灯します。

※ 電波の状態が悪いときは消灯します。

● MSG（Message）

オレンジ色点滅：電子メール、UUIメールが着信したとき（→P.150）

● SD/RD（Send Data/Receive Data）

緑色点滅：パソコンからAtermにデータが送られているとき

赤色点滅：Atermからパソコンにデータを送っているとき

4 POWERランプ

緑色点灯：電源が入っているとき

緑色点滅（1秒間に2回）：電池で動作しているとき

緑色点滅（1秒間に1回）：電池の残量が少ないとき

5 MENUボタン

各種の設定をするときに押します。設定中にMENUボタンを押すと、設定はキャンセル（解除）されます。

6 ENTERボタン

設定項目を決定するときに押します。

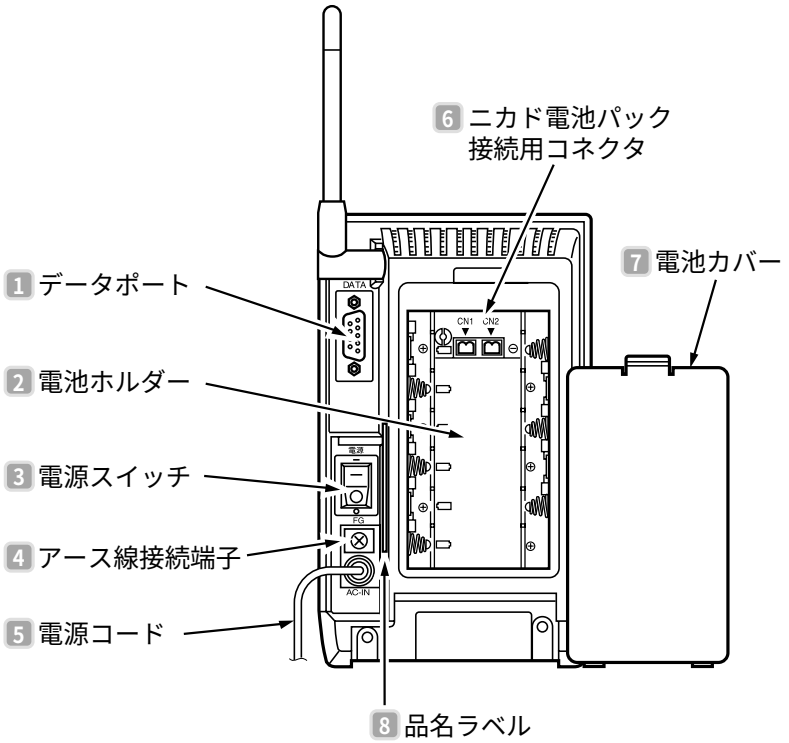
7 SELECTボタン

設定項目を選ぶときに押します。ボタンを押すごとに設定項目が変わります。

お知らせ

● 液晶ディスプレイには表面を保護するための保護シート（ポリエチレンフィルム）が貼ってあります。ご使用の際には保護シートをはがしてからお使いください。

背面



1 データポート

添付のRS-232Cケーブルを使用してパソコンに接続するコネクタです。

2 電池ホルダー

停電モード時に使用する電池を入れるホルダーです。市販の単 3 アルカリ乾電池（6 本）または別売のニカド電池パックを使用します。

3 電源スイッチ

電源を ON／OFF するスイッチです。ON にするときは「ー」側を押します。

4 アース線接続端子

アース線を取り付ける端子です。

5 電源コード

AC100V の家庭用電源コンセントに接続するコードです。

6 ニカド電池パック接続用コネクタ

ニカド電池パックを使用するときに、このコネクタに接続します。

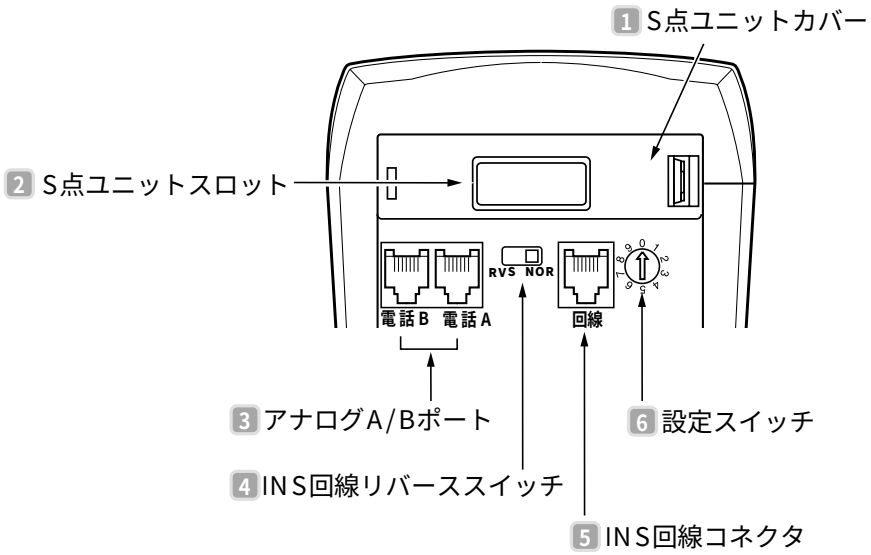
7 電池カバー

ツメの部分を押し下げながら、カバーを持ち上げるようにするとはずれます。

8 品名ラベル

Atermの認証番号、製造番号、無線端末識別用ID 番号などが記載されています。

底面



1 S 点ユニットカバー
別売のS点ユニットの着脱時にはずします。

2 S 点ユニットスロット
別売のS点ユニットを増設するための拡張スロットです。

3 アナログ A/B ポート
電話機、ファクス、モデムなどのアナログ通信機器を接続するコネクタです。

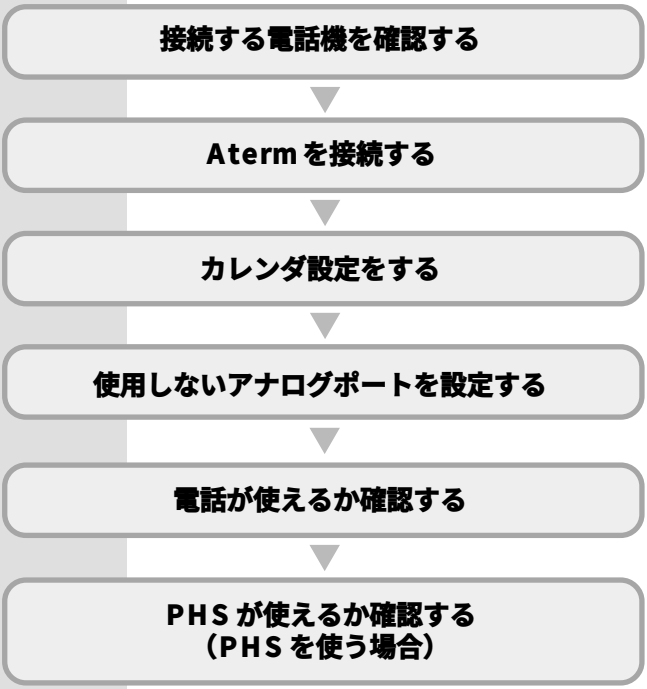
4 INS 回線リバーススイッチ
INS ネット 64 の回線が逆転しているとき（同期がとれないとき）に切り替えます。切り替えるときは細くて硬いもの（ボールペンの先など）を使ってください。

5 INS 回線コネクタ
添付のINS 回線ケーブルを使用して、INS ネット 64 と接続するコネクタです。

6 設定スイッチ
強制ダウンロードモードなどを実行するときに使用します。

2．Atermの設置と接続

接続する機器を確認したあと、Atermを設置します。



Windows®98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略です。
Windows®95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略です。
WindowsNT®4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system Version 4.0の略です。

2-1．接続する電話機を確認する

ダイヤル種別と電話機の確認

接続できるアナログ通信機器は次のとおりです。

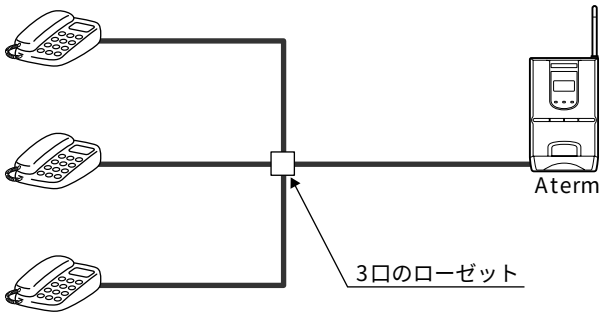
- **端末審査協会の適合マーク「㊣」または「㊦」が付いている電話機、G3 ファクス、モデム（アナログ通信機器）など**
- **ダイヤル方式が「トーン」（プッシュ）のアナログ通信機器**
  （トーンは「PB」と表示されている場合もあります。）

お願い

- 今までお使いの回線がプッシュホン契約でない場合は、電話機のダイヤル方式を「トーン」（プッシュ）に切り換えてからお使いください。
- Aterm のアナログポートは、疑似的にアナログ電話回線と同等の環境をつくっています。正式なアナログ電話回線ではないので、接続する通信機器によっては使用できない場合があります。

電話機を複数台接続するには

1 つのアナログポートに 3 台まで接続（ブランチ接続）できます。接続できるのは、アナログ網でブランチ接続可能な装置です。ただし、通話できるのは 1 台のみです。

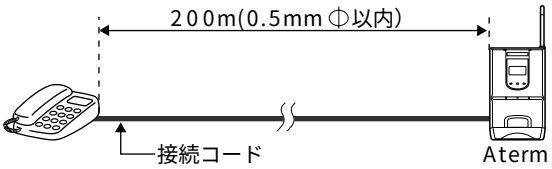


お知らせ

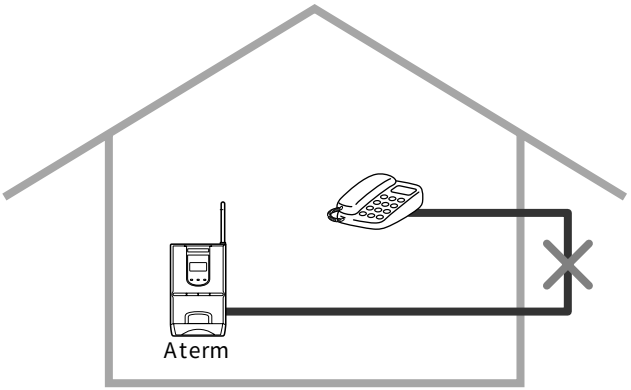
- ブランチ接続する装置の合計容量は、3μF/2kΩ 以内です。
- ブランチ接続した場合は、INS ナンバー・ディスプレイ機能は使えません。

電話機接続コードについて

電話機接続コードは、太さ 0.5mm Φ、長さ 200m 以内でご使用ください。接続する通信機器の種類によっては、それよりも短くなる場合があります。

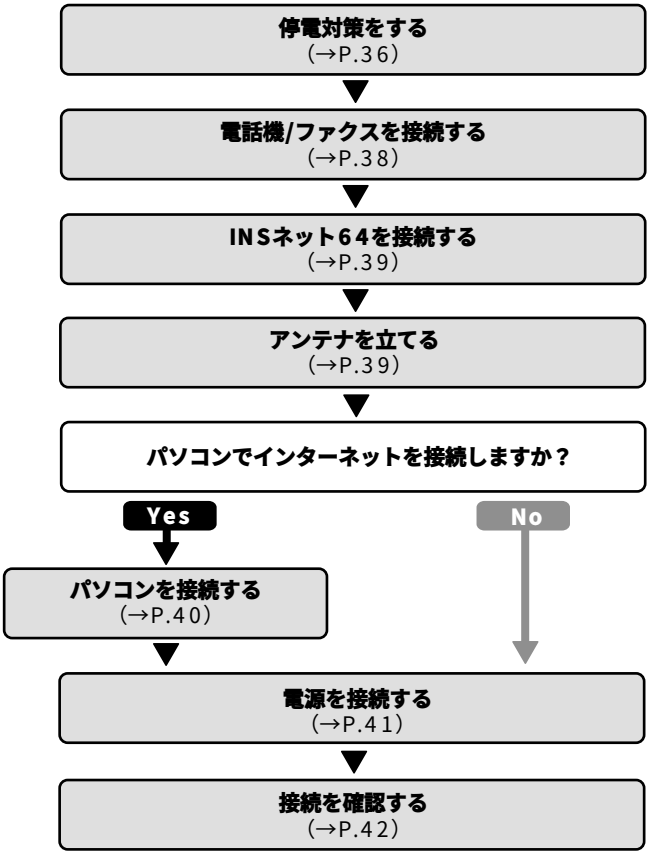


電話機接続コードは絶対に屋外を通さないでください。雷などによる傷害の原因となります。



2-2．Atermを接続する

以下の手順で Aterm を接続します。



停電対策をする

Atermに電池をセットしておくと、停電時に以下の機能を使用することができます。

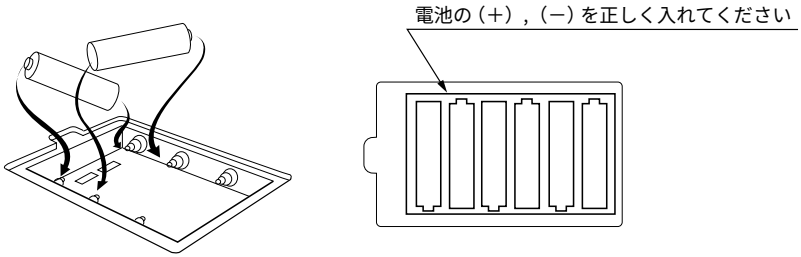
- **■ アナログAポートに接続されている電話機などの機器と、データポートに接続された機器（停電動作可能な機器）**
- **■ 電子メール着信通知や遊遊メール、UUIメール**
- **■ S点ユニットのS/T点**

セットのしかた

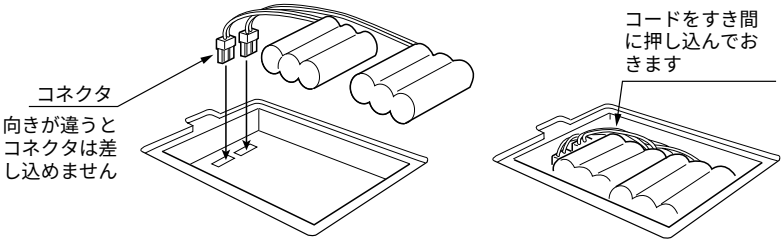
1. AtermIW50/D背面の電池カバーを開けます。
   ツメの部分を押し下げながらカバーを持ち上げるようにするとはずれます。

2. 電池ホルダーに次のいずれかの電池をセットします。

   ■ 別売の単3アルカリ乾電池　6本
   電池の＋・－に注意して、電池ホルダーに入れます。



   ■ 別売のニカド電池パック「AtermIT用Ni-cdバッテリパック」（PC-IT/B01）1セット（2個）
   下図のようにコネクタに差し込んでから、電池を入れます。



3. 電池カバーをもとにもどします。

お願い

- 電池をセットするときは、電源スイッチがOFFの状態でおこなってください。
- 電池を入れて使用する場合は、直射日光、高温、高湿の場所を避けて設置してください。
- 本体の通風孔をふさがないようにしてください。
- 本体背面を発熱する機器の近くに置かないでください。
- 1年に1回の割合でアルカリ乾電池は交換してください。なお、この交換を忘れることを防ぐため、アルカリ乾電池は停電時にセットすることをおすすめします。
- 電池の使用上の注意を守ってお使いください。

お知らせ

- 電池を使用した場合の連続動作可能時間の目安は次の表のとおりです。（アナログAポート利用時）

	連続待ち受け時間	連続通話時間
新しい単3アルカリ乾電池	約8時間	約4時間
ニカド電池パック（満充電時）	約1時間	約30分

  - ○ アナログBポートに接続した電話機の受話器を上げると動作可能時間が短くなるので、受話器は置いたままにしてください。
  - ○ S点ユニットまたはデータポートに接続された機器によっては動作可能時間が短くなるので、必要な機器以外はAtermからはずしてください。
- 電池装着時および3ヶ月に1回程度、電池カバーを開けて電池の外観の点検をするようにしてください。
- ニカド電池パックは、ご購入時には充電されていません。本体にセットして電源ONの状態で、約2日間で充電が完了します。充電が完了するまでの間に停電があると、機器を使用できないことがあります。
- ニカド電池パックは停電時に電池を消耗しますが、停電復旧後は自動的に充電されるので、本体にセットしたままお使いください。
- ニカド電池パックを充電しても停電モード時に動作が不安定になったときは寿命です。新しい電池パックと交換してください。
- ニカド電池パックの寿命は、通常の使用で約2年間です。停電時の動作用なので、早めに交換するようにしてください。

使用済みのニカド電池パックについて

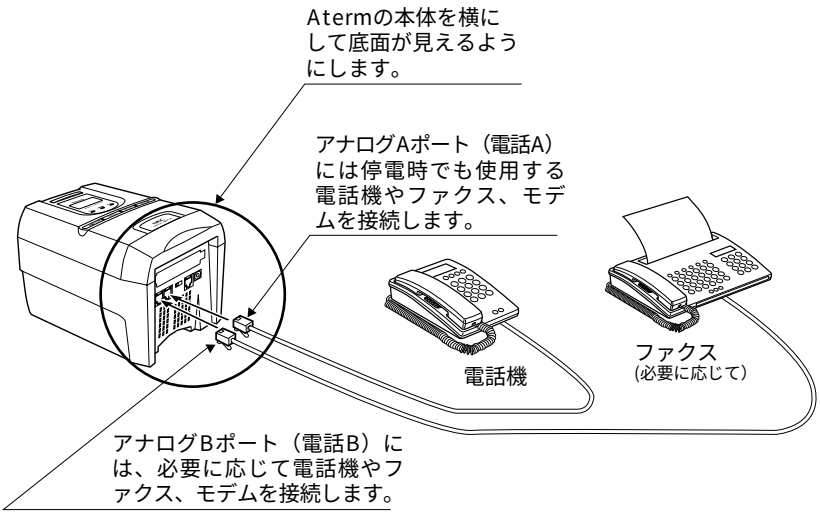
- Atermを破棄する場合は、ニカド電池パックを取り出してください。
- 不要になったニカド電池パックは、Atermまたはニカド電池パックをお買い上げの販売店、もしくはお近くのニカド電池リサイクル協力店にお持ちください。

Ni-Cd

電話機／ファクスを接続する

電話機／ファクスに添付、または市販の電話機接続コードでアナログ通信機器を接続します。

つなぎ方



お願い

● 電話機／ファクスのダイヤル種別は「トーン」（PB）に設定してください。

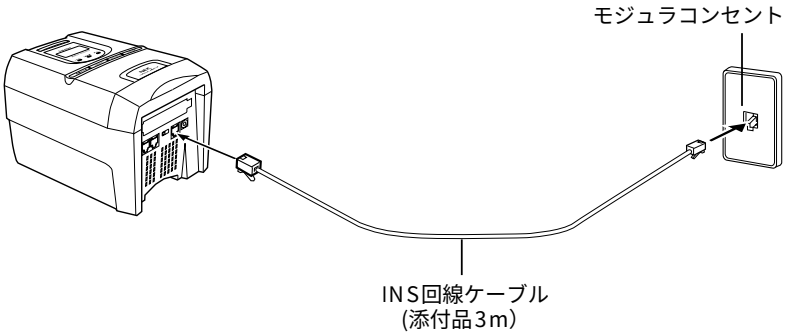
お知らせ

● 電池ホルダーに停電用の電池をセットしておくと停電時にアナログAポートとデータポートに接続されている機器を使うことができます。(→ P.36)

INS ネット 64 を接続する

電話回線と接続します。

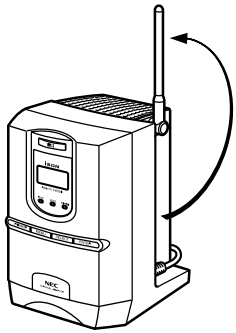
つなぎ方



1. Aterm 底面の INS 回線コネクタに INS 回線ケーブルを接続します。
2. INS 回線ケーブルの反対側を回線用コンセント（モジュラコンセント）に接続します。

アンテナを立てる

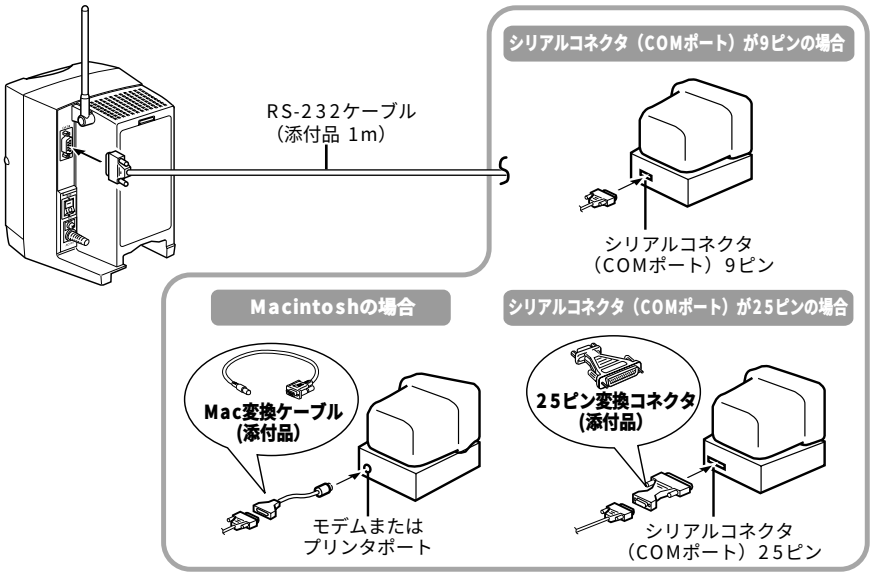
1. Aterm 本体のアンテナを回転させ、垂直に立てます。



パソコンを接続する

AtermIW50/D でインターネット接続する場合は以下のようにパソコンを接続します。

つなぎ方



1. パソコンに添付の RS-232C ケーブルを接続します。
   - Macintosh をお使いの方は、添付の Mac 変換ケーブルを使用します。
   - シリアルコネクタ（COM ポート）が 25 ピンのパソコンをお使いの方は、添付の 25 ピン変換コネクタを使用します。
2. RS-232C ケーブルの反対側を Aterm 背面のデータポートに接続します。

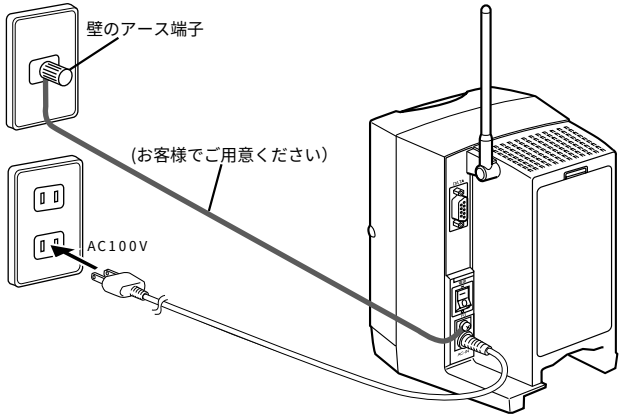
お願い

- 回線や電源コードから入り込むノイズ（雷など）から装置を保護するため、アース線の接続と別売りの落雷プロテクタ（PC-IT/SP01 → P.330）のご使用をおすすめします（アース線は別にご用意ください）。ただし、落雷プロテクタを使用していても落雷の程度によっては、二次災害を防止するため装置内の一部分が破壊される場合があります。落雷などの天災地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますのであらかじめご了承ください。

電源を接続する

Atermを電源に接続します。また、落雷などの電撃事故による人身への障害や機器への損傷を防ぐために、アースを接続することをおすすめします。

つなぎ方



1. 電話機の受話器が置いてあることを確認の上、Aterm背面のアース線接続端子にアース線を接続します。
2. アース線の反対側を壁のアース端子に接続します。
3. 電源コードを家庭用電源（AC100V）に差し込みます。

お知らせ

- 回線や電源コードから入り込むノイズ（雷など）から装置を保護するため、アース線の接続と別売の落雷プロテクタ（PC-IT/SP01 → P.330）のご使用をおすすめします。

お願い

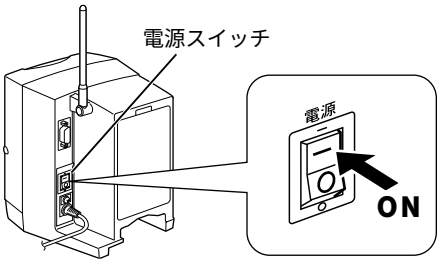
- 電源コードはパソコンのスイッチと連動しているコンセント（サービスコンセント）には接続しないでください。この場合、パソコンの電源を切るとAtermは停電モードになり電池が消耗します。
- 落雷プロテクタを使用していても落雷の程度によっては、二次災害防止のため装置内の一部が破壊される場合があります。落雷などの天災地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますのでご了承ください。

接続を確認する

正しく接続できたか確認します。

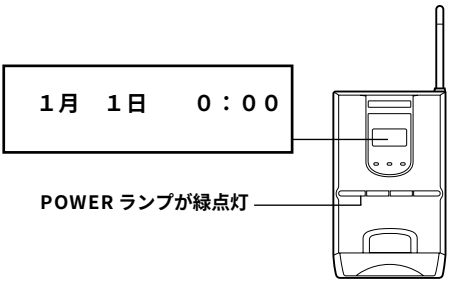
使い方

1. アナログポートに接続した通信機器は受話器を置いた状態にしておきます。
2. Aterm 背面の電源スイッチを ON（「ー」側）にします。



AtermIW50/D背面

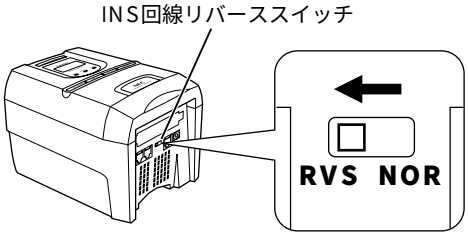
3. Aterm 前面の POWER ランプが緑色に点灯することを確認します。
液晶ディスプレイには日付と時刻が表示されます。



「カイセンショウガイレイヤ 1 ダウン」と表示されたとき

Atermの液晶ディスプレイに「カイセンショウガイレイヤ 1 ダウン」と表示されたときは、INS ネット 64 が正常に接続されていません。以下の手順で接続を確認してください。

1. INS 回線ケーブルが確実に接続されているか確認します。
2. Aterm 底面の INS 回線リバーススイッチを「RVS」側に切り替えます。



AtermIW50/D底面

3. 液晶ディスプレイに時刻が表示されたか確認します。表示されれば正常です。
4. 時刻が表示されない場合はINS回線リバーススイッチを「NOR」側にもどし、NTT東日本またはNTT西日本へINSネット64への切り替えが完了しているか確認してください。

2-3．カレンダ設定をする

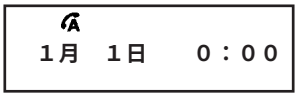
日付・時刻の設定

Atermの液晶ディスプレイに表示される日付・時刻を設定します。

設定

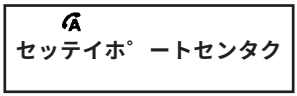
［Aterm液晶ディスプレイ］

1. 電話機の受話器を上げます。



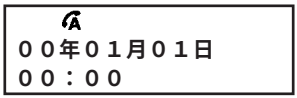
〈例〉アナログAポートに接続した電話機の受話器を上げた場合

2. ＊ ＊ 1 ＊ を押します。



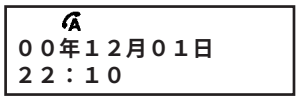
3. 9 を押します。

4. ＊ を押します。

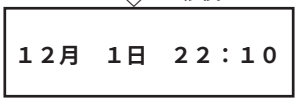


5. 年：西暦下2桁、月・日・時・分：2桁の順に入力します。
   〈例〉2000年12月1日午後10時10分の場合
   0 0 1 2 0 1 2 2 1 0 を押す。
   - ＊ を押すとカーソルが右に移動します。
   - 時刻は24時間制となります。

6. ＃ を押します。



5秒後



7. 受話器を置きます。

お知らせ

- アナログAポート、アナログBポートに接続されている電話機から操作できます。
- 設定途中で受話器を置くと、設定はキャンセルされます。はじめからやり直してください。
- 日付・時刻の代わりに機種名を表示することもできます。受話器を上げて次の操作をします。
  日付・時刻表示‥‥＊ ＊ 8 1 1 を押します。
  機種名表示‥‥‥‥‥＊ ＊ 8 1 0 を押します。
- 電話機独自の機能で既に ＊ ＊ 1 を使用しているときは、電話機で設定できません。＊ ＊ 1 が使用できるかどうかは、電話機メーカにお問い合わせください。

2-4．使用しないアナログポートを設定する

アナログポートに接続した通信機器の種類を設定します。お買い上げ時には、すべてのポートが「電話機」に設定されています。

設定

❶ 電話機の受話器を上げます。

❷ ＊ ＊ 1 ＊ を押し、アナログポートの設定を選択します。

［Aterm 液晶ディスプレイ］

```
セッテイポ゛ートセンタク
```

● 「ポートシヨウチュウ　セッテイフカ」と表示されたときは、通話中または通信中のため設定できません。通話が終わってから操作してください。

❸ 設定するポートを指定します。

- 1　アナログ A ポート
- 2　アナログ B ポート

```
アナログ゛ A　ニセッテイ
```

〈例〉 1 を押したとき

❹ ＊ 0 1 ＊ を押します。

```
アナログ゛ソウチ
0：デ゛ンワ
```

❺ 接続している通信機器を指定します。

- 0　電話機
- 1　ファクスまたはファクス付電話機、モデム
- 2　接続しない

❻ # を押します。

```
セッテイポ゛ートセンタク
```

● 他のポートを設定するときは、❸にもどります。

❼ # を押します。

```
セッテイシマシタ
```

約 5 秒間表示されます

❽ 受話器を置きます。

お願い

● 接続しないポートは、必ず「接続しない」に設定してください。設定していないと、話し中のときでも相手に呼出音が鳴ってしまいます。

2-5．電話が使えるか確認する

電話機が正しく接続できたか確認します。

電話をかける

使い方

❶ 電話機の受話器を上げます。

→受話器から「ツー」という発信音が聞こえ、液晶ディスプレイにアナログポート名（Ⓐ、Ⓑ）が表示されます。

［Aterm 液晶ディスプレイ］

```
Ⓐ
1 月  1 日   0：00
```

〈例〉 アナログ A ポートに接続した電話機の受話器を上げた場合

❷ 相手先の電話番号をダイヤルし、最後に # を押します。

〈例〉時報 1 1 7 #

```
Ⓐ
ｱﾅﾛｸﾞ゛ A  ﾊｯｼﾝ
117
```

❸ つながったか確認します。

❹ 受話器を置きます。

```
ｱﾅﾛｸﾞ゛ A  ｾﾂﾀﾞ゛ﾝ
016        10 円
```

切断理由（016 は正常切断）（→ P.315）　通話料金

お願い

- 電話がつながらないときは次の点を確認してください。
  - ○ 受話器を上げてもディスプレイにⒶまたはⒷが表示されないときは、Aterm と電話機が正しく接続されているか確認してください。
  - ○ ダイヤルしても「アナログ A ハッシン」と表示されないときは、電話機のダイヤル種別が「トーン」（PB）になっているか確認してください。

お知らせ

- ダイヤル後に # を押さないとダイヤル桁間タイマが働いて、5 秒後（初期値）に自動的に電話がかかります。（Windows→P.175、Macintosh→P.196、電話機→P.206）
- AtermIW50/D を電話機の近くでお使いになると、通話時にノイズが発生する場合があります。その場合は、Aterm を電話機から少し離して設置してください。

電話を受ける

使い方

1. どなたかに電話をかけてもらいます。
2. 電話機の呼出音が鳴ります。

［Aterm 液晶ディスプレイ］

```
アナログ゛　チャクシン
０３１２３４５６７８
```

〈例〉アナログAポートに着信した場合

3. 受話器を上げて通話します。
4. 通話が終わったら受話器を置きます。

```
アナログ゛ A　セツダ゛ン
０１６
```

切断理由

お知らせ

- ここまでの操作でINSネット64で電話が使えるようになります。インターネットに接続したりAtermのさまざまな機能を利用するには、必要に応じて以降の設定をしてください。

2-6．PHSが使えるか確認する

PHSをAtermの子機としてお使いになる方は、PHSが使えるか確認します。PHSはあらかじめAtermIW50/Dの子機として増設登録（ID登録）しておく必要があります。（→P.25）

PHSで電話をかける

使い方

1. PHSの（電源）ボタンを押して電源を入れます。
2. PHSのディスプレイにアンテナマーク（ ）が表示されることを確認します。
3. 相手先の電話番号を押します。
   〈例〉時報 1 1 7 （通話）（または（通話）1 1 7 ）
4. つながったか確認します。
5. （切）ボタンを押します。

お知らせ

- PHSのディスプレイにアンテナマークが表示されないときは、次の点を確認してください。
  - ○ PHSの増設登録はお済みですか？
  - ○ PHSの待ち受けモードが「オフィスモード」（構内モード）に設定されていますか？
  - ○ Atermの電源が入っていますか？
  - ○ AtermとPHSの距離が離れすぎていませんか？
  - ○ PHSのバッテリは充分ありますか？
- PHSからの発信時はAtermの液晶ディスプレイに発信の表示はされません。

PHSで電話を受ける

使い方

1. どなたかに電話をかけてもらいます。
2. PHSの呼出音が鳴ります。
3. （通話）ボタンを押して通話します。
4. 通話が終わったら（切）ボタンを押します。

お知らせ

- PHSを割り当てている無線ポートを契約者回線番号と別のダイヤルイン番号で呼び分けている場合は、Atermの液晶ディスプレイに着信の表示はされません。

3．電話を使う、インターネットに接続する

標準的な環境で電話を使えるようにし、インターネットに接続するための手順を説明します。

添付ユーティリティのご紹介

▼

設定の流れを確認する

▼

電話番号の設定をする

▼

インターネット接続の設定をする
（インターネットに接続する場合）

Windows®98 は Microsoft® Windows®98 operating system の略です。
Windows®95 は Microsoft® Windows®95 operating system の略です。
WindowsNT®4.0 はMicrosoft® WindowsNT® operating system Version 4.0 の略です。

3-1．Atermを利用するまでの流れ

添付ユーティリティの紹介

Atermに添付のCD-ROM「AtermIW50シリーズユーティリティ集」には、Atermを設定するためのユーティリティソフトが収録されています。各OS、機器で使用できるユーティリティは次のとおりです。

ユーティリティ種類	機能	対応機器/OS				
		Windows98 Windows95	Windows NT4.0	Macintosh	電話機	Aterm RS20
IW50らくらくウィザード	パソコンでアナログポートと無線ポートの設定と、インターネットの接続の設定をします。	○ (→P.54)	—	—	—	○
IW50らくらくユーティリティ	パソコンでアナログポート、無線ポート、データポートの詳細設定をします。	○ (→P.173)		○ (→P.65)	—	○
らくらくバージョンアップ	Aterm本体のメモリに記憶されているソフトウェアをバージョンアップし、Atermに新しい機能を追加します。	○ (→P.319)		○ (→P.322)	—	—
UUIメールEX	電子メール着信通知、遊遊メール、UUIメールを利用するときに、パソコンでメールの着信を確認したり、アドレス帳の登録などをします。	○ (→P.153)		○ (→P.158)	—	—
らくらくテレホン設定*	Aterm IW50/Dの液晶ディスプレイを見ながら、電話機でアナログポートと無線ポートの設定をします。	—	—	—	○ (→P.204)	—

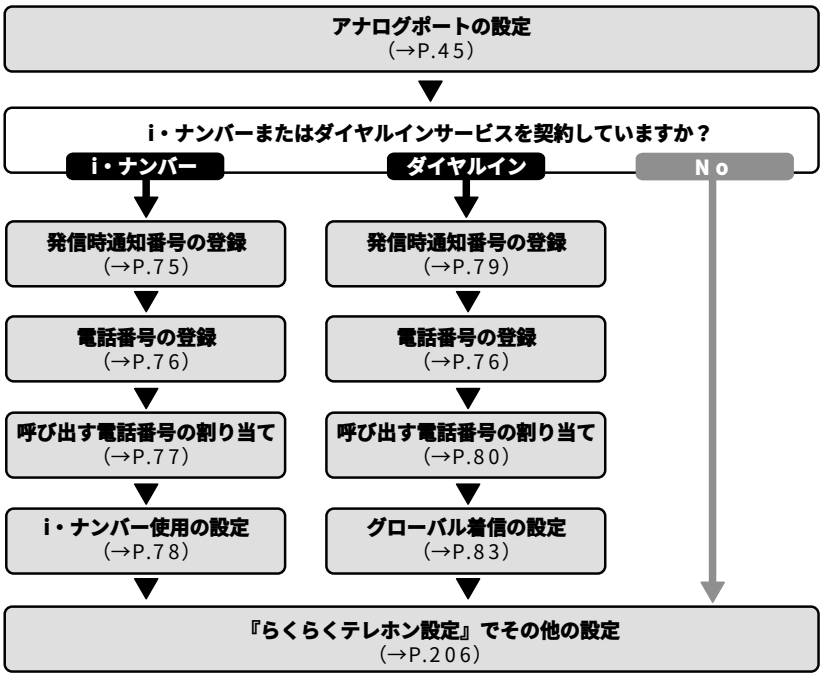
お知らせ

- パソコンの環境によっては、らくらくウィザード、らくらくユーティリティが利用できない場合があります。詳細は第4編「困ったときのQ&A」（→P.227）を参照してください。
- 『らくらくテレホン設定』は電話機を使って設定するので、ユーティリティソフトのインストールは必要ありません。

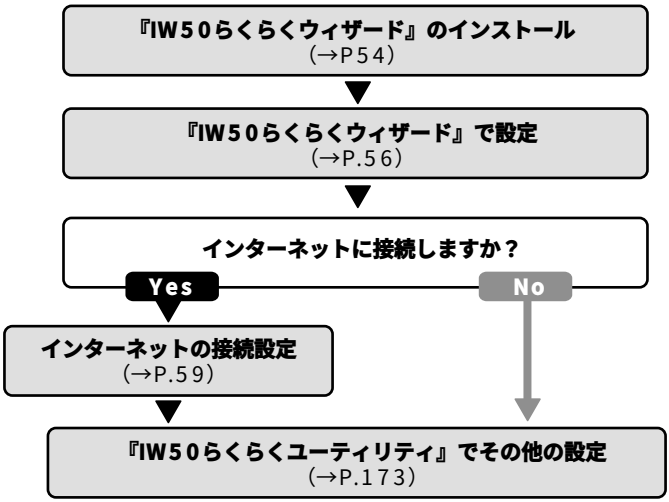
設定の流れ

AtermIW50/Dに接続している機器（電話機やパソコンのOS）によってAtermの設定方法が異なります。それぞれの流れを以下に示します。いずれも「2. Atermの設置と接続」（→ P.32）を終わらせておいてください。

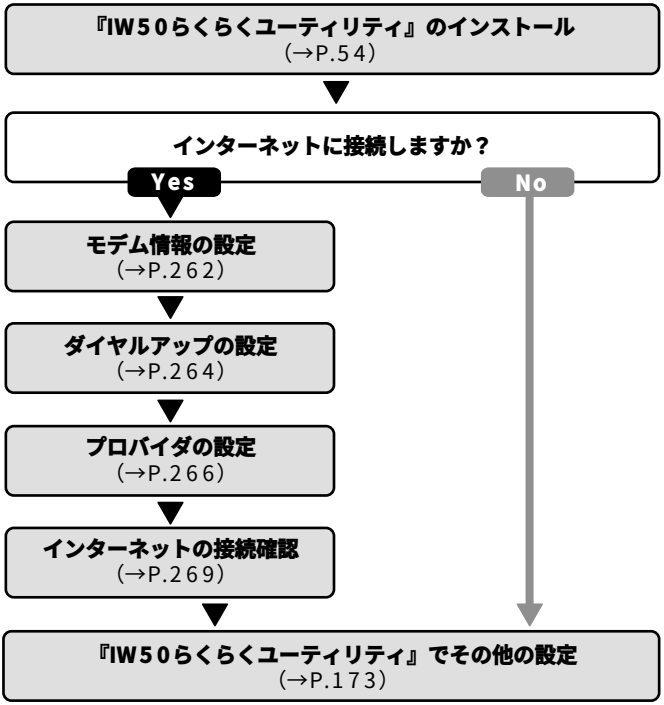
電話機のみを使う場合



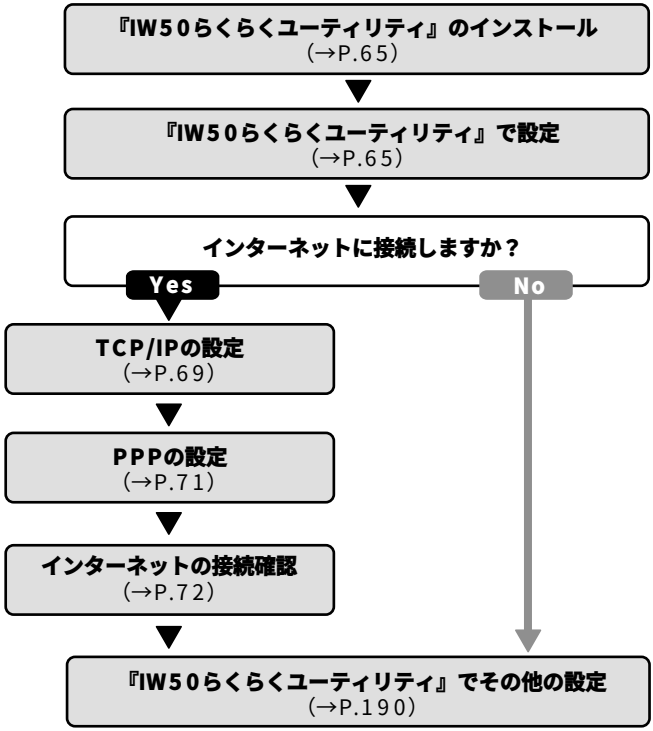
Windows®98/Windows®95を使う場合



WindowsNT®4.0を使う場合



Macintoshを使う場合



お願い

- AtermRS20などのリモートステーションからインターネットに接続する場合の手順は、各機器に添付の取扱説明書を参照してください。
- PHSカードを使ってインターネットに接続する場合の手順は、第4編「PHSでインターネットに接続する」(→P.260)を参照してください。

3-2. Windows®98/Windows®95/WindowsNT®4.0 をご利用の方は

らくらくウィザード/らくらくユーティリティをインストールする

1. パソコンを起動します。

2. 添付CD-ROM「AtermIW50シリーズユーティリティ集」をCD-ROMドライブにセットします。

   → メニュー画面が表示されます。

   ● CD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されないときは、「メニュー画面が表示されないとき」(→P.55)を参照して実行してください。

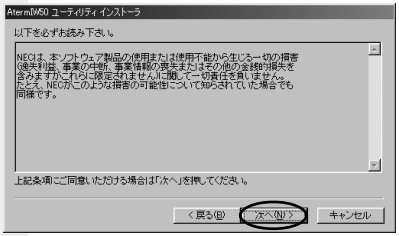
3. [IW50 ユーティリティ集 Windows 95/98/NT4.0 用のインストール]ボタンをクリックします。

   → ユーティリティインストーラ画面が表示されます。

4. 次へ ボタンをクリックします。

5. 次へ ボタンをクリックします。

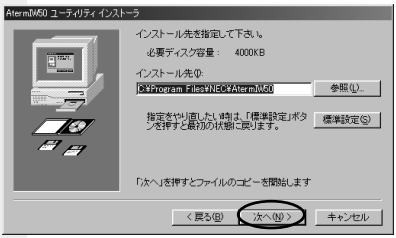
   → [ユーティリティインストーラ]の使用上の注意が表示されます。



6. 内容をよく読み、同意する場合は 次へ ボタンをクリックします。

   → [ユーティリティインストーラ]画面が表示されます。

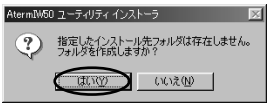
7. インストール先とフォルダを指定し、 次へ ボタンをクリックします。



   ● 変更の必要がない場合は、そのまま 次へ ボタンをクリックします。

   ● インストール先、フォルダ名を変更するときは 参照 ボタンをクリックし、インストール先を指定します。

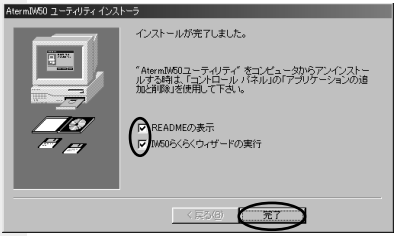
   ● 次の画面が表示されたら、 はい ボタンをクリックします。



   → インストールが始まります。

8. [インストール完了]画面が表示されます。

9. 「IW50 らくらくウィザードの実行」が☑になっていることを確認して 完了 ボタンをクリックします。



→「READMEの表示」が ☑ になっているとメモ帳が起動し、IW50らくらくウィザードを実行する前にユーティリティに関する説明文が表示されます。

⑩ READMEを読み終えたらクローズボックスをクリックし、メモ帳を終了します。

→［らくらくウィザード］画面が表示されるので、続けてらくらくウィザードで設定をします。

メニュー画面が表示されないとき

パソコンにCD-ROMをセットしてもメニューが表示されなかったときは、ファイル名を指定してインストールを実行します。

① スタート →［ファイル名を指定して実行］を選択します。

→［ファイル名を指定して実行］画面が表示されます。

② 「名前」の欄に半角で次のように入力し、OK ボタンをクリックします。

Q:\Util\IW50wizutl\50setup
（Qはドライブ名）

● CD-ROMのドライブ名はパソコンによって異なることがあります。わからないときは、次の操作でCD-ROMドライブを探すことができます。

① ［ファイル名を指定して実行］画面の 参照 ボタンをクリックします。

→［ファイルの参照］画面が表示されます。

② 「ファイルの場所」の ▼（プルダウンボタン）をクリックし、表示されたリストの中からCD-ROMドライブを選択します。

③ ドライブ名を確認し、キャンセル ボタンをクリックします。

らくらくウィザードで設定する

らくらくウィザードで次の設定ができます。

- **アナログポート / 無線ポートの接続機器の種類の設定**
- **アナログポート / 無線ポートの呼び分け（i・ナンバーの設定 / グローバル着信とダイヤルインの設定）**
- **インターネット接続の設定**

● らくらくウィザード画面が表示されない場合、または設定終了後に再度らくらくウィザードを起動する場合は [スタート] →［プログラム］→［AtermIW50 ユーティリティ］→［IW50らくらくウィザード］を選択します。

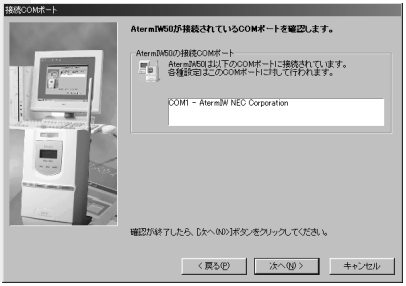
● WindowsNT4.0の場合は設定できる内容と以下の画面が一部異なります。

1 ［IW50 らくらくウィザードにようこそ］画面の内容を読んでから [次へ] ボタンをクリックします。

→［設定を始める前に］画面が表示されます。

2 内容を読んでから [次へ] ボタンをクリックします。

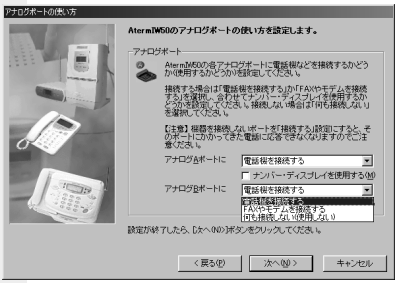
→［接続COMポートの確認］画面が表示されます。



3 接続されているCOMポートを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

→［アナログポートの使い方］画面が表示されます。

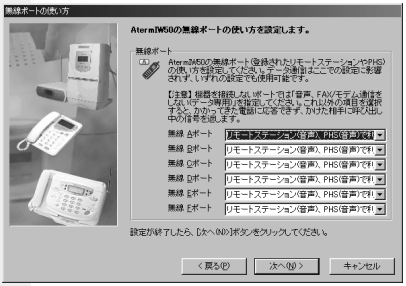
4 アナログAポート、Bポートに接続した通信機器をそれぞれ選択します。
INSネット64の付加サービス「ナンバー・ディスプレイ」を利用する場合は「ナンバー・ディスプレイを使用する」を☑にします。



● ファクスおよびファクス付電話機、モデムを接続するポートは「FAXやモデムを接続する」を選択します。通信機器を接続しないポートは「何も接続しない（使用しない）」を選択します。

5 [次へ] ボタンをクリックします。

→［無線ポートの使い方］画面が表示されます。



6 各無線ポートに接続している通信機器を選択します。

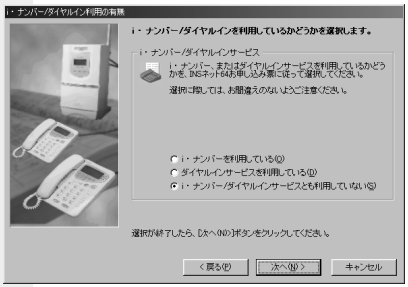
リモートステーション（音声）、PHS（音声）で利用：PHS電話機やリモートステーションのアナログポートに電話機を接続する場合に選択します。

リモートステーション(FAX/モデム)で利用：リモートステーションのアナログポートにファクスや高速データモデムを接続する場合に選択します。

音声、FAX/ モデム通信をしない(データ専用)：PHS電話機やリモートステーションのアナログポートを使用しない場合に選択します。

7 次へ ボタンをクリックします。

→[i・ナンバー/ダイヤルイン利用の有無]画面が表示されます。



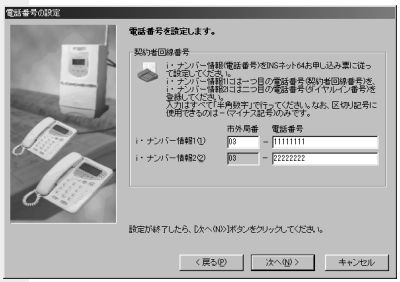
8 「INS ネット 64 お申込票」を参照し、i・ナンバーまたはダイヤルインサービスを利用しているかどうかを選択し、次へ ボタンをクリックします。

→[電話番号の設定]または[電話番号の設定・契約者回線]画面が表示されます。

9 電話番号を半角で入力します。

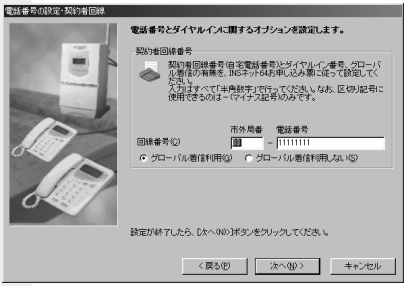
■ **i・ナンバーを利用する場合**

i・ナンバー情報を入力し、12 に進みます。



■ **ダイヤルインサービスを利用する場合**

契約者回線番号を入力し、グローバル着信を利用するかどうかを選択します。



■ **i・ナンバー/ダイヤルインサービスとも利用していない場合**

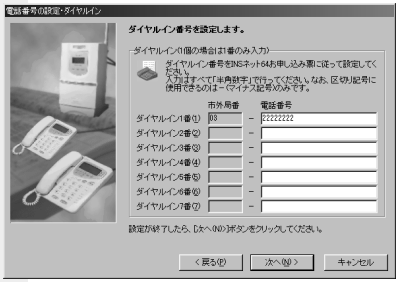
契約者回線番号を入力し、16 に進みます。

10 次へ ボタンをクリックします。

→[電話番号の設定・ダイヤルイン]画面が表示されます。

11 「ダイヤルイン1番(1)」欄にダイヤルイン番号を入力します。

● ダイヤルイン番号が複数ある場合は「ダイヤルイン2番(2)」以降に入力します。

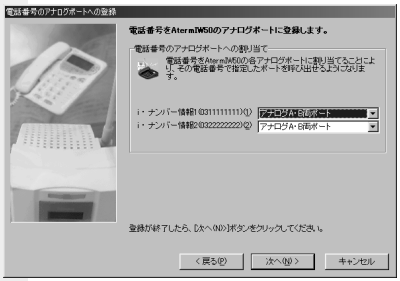


12 次へ ボタンをクリックします。

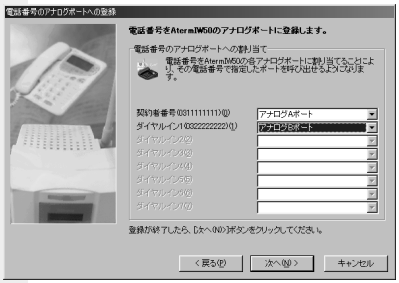
→[電話番号のアナログポートへの登録]画面が表示されます。

⑬ 各電話番号に割り当てるアナログポートをそれぞれ選択します。

■ i・ナンバーを利用する場合



■ ダイヤルインサービスを利用する場合

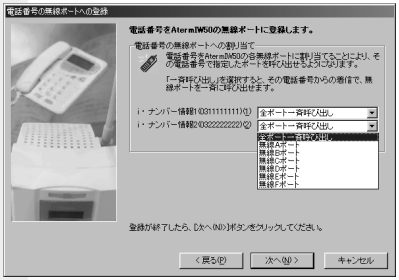


⑭ 次へ ボタンをクリックします。

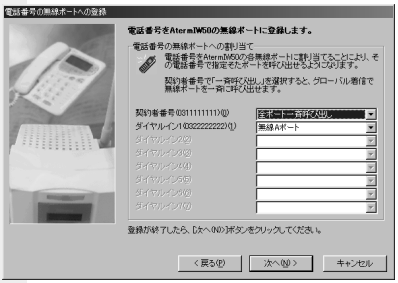
→［電話番号の無線ポートへの登録］画面が表示されます。

⑮ 各電話番号を割り当てる無線 A ～ F ポートを選択します。

■ i・ナンバーを利用する場合



■ ダイヤルインサービスを利用する場合



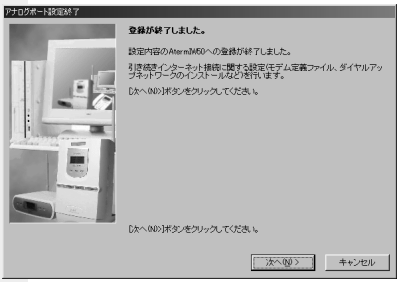
● 「契約者番号」で「全ポート一斉呼び出し」を選択すると、すべての無線ポートを契約者回線番号で呼び出します。

⑯ 次へ ボタンをクリックします。

→［設定内容の AtermIW50 への登録］画面が表示されます。

⑰ 実行 ボタンをクリックします。

→ アナログポートと無線ポートの設定内容が Aterm に登録され、［アナログポート設定終了］画面が表示されます。



⑱ 次へ ボタンをクリックします。

→［プロバイダの選択］画面が表示されるので、続けてインターネットの接続の設定をします。

お知らせ

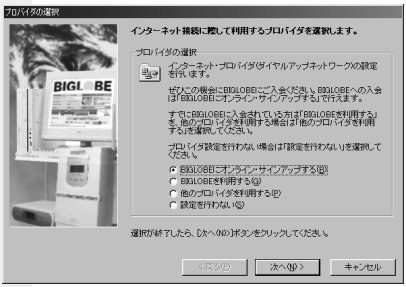
- 『IW50らくらくウィザード』が起動しない場合は、第4編「3. AtermIW50/Dに接続したパソコンでインターネットの接続がうまくいかなかったとき」の「3-1. Windows98/Windows95で接続する（→P.249）を参照し、手動で設定をしてください。
- 『BIGLOBE』はNECの運営するインターネットプロバイダです。

インターネットに接続する

インターネットに接続するための設定をします。

- インターネットに接続するには、プロバイダとの契約が必要です。契約がお済みでない場合は、あらかじめ契約をしておくか、またはらくらくウィザードで『BIGLOBE』へのオンライン・サインアップも可能です。
- らくらくウィザードの設定終了後に再度らくらくウィザードを起動する場合は、スタート →[プログラム]→[AtermIW50ユーティリティ]→[IW50らくらくウィザード]を選択します。IW50らくらくウィザードが起動するので、「らくらくウィザードで設定する」（→P.56）の順に進めます。すでに設定してある内容が表示されるので、内容を確認しながら次へ ボタンをクリックして進めてください。

❶ インターネットの接続に利用するプロバイダを選択します。



- ここで何を選択したかよって次の操作をしたあと、❷（→P.62）に進みます。

BIGLOBEにオンラインサインアップする

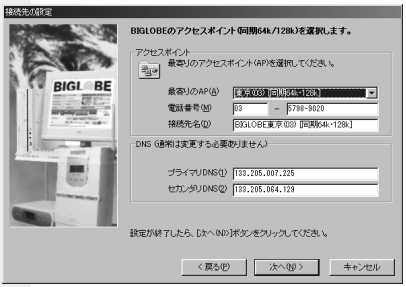
プロバイダに未加入でBIGLOBEにこれから加入する場合に選択します。

1. 「BIGLOBE にオンラインサインアップする」を選択し、次へ ボタンをクリックします。
2. 画面に表示される指示に従います。
3. ❷ （→ P.62）に進みます。

BIGLOBE を利用する

BIGLOBEに加入済の場合に選択します。

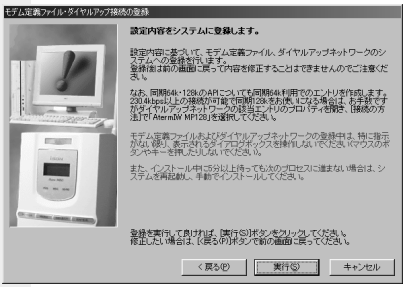
1. 「BIGLOBE を利用する」選択し、次へ ボタンをクリックします。



→［接続先の設定］画面が表示されます。

2. 「アクセスポイント」に［電話番号の設定・契約者回線］画面で設定した電話番号から近い場所が表示されます。変更する場合は、▼をクリックして選択します。
3. 次へ ボタンをクリックします。

→［モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録］画面が表示されます。



4. 実行 ボタンをクリックします。
5. ❷ （→ P.62）に進みます。

他のプロバイダを利用する

他のプロバイダに加入済の場合に選択します。

❶ 「他のプロバイダを利用する」を選択し、次へ ボタンをクリックします。

→［接続先の設定］画面が表示されます。

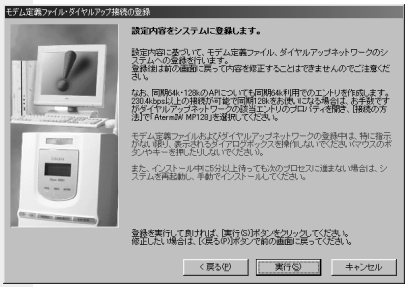
❷ 「電話番号」に接続するアクセスポイントの電話番号を半角で入力します。

❸ 「接続先名」には契約しているプロバイダの名称を入力します。接続先名はダイヤルアップネットワークの名前になるので、プロバイダの名称を正確に入力する必要はありません。

❹ 「プライマリ DNS(1)」「セカンダリ DNS(2)」は契約しているプロバイダのユーザ情報資料などに従って入力してください。

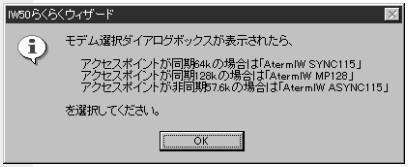
❺ 次へ ボタンをクリックします。

→［モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録］画面が表示されます。



❻ 実行 ボタンをクリックします。

→ モデム選択の説明が表示されます。



❼ 内容を読んでから OK ボタンをクリックします。

→［モデムの選択］画面が表示されます。

❽ モデムの種類を選びます。プロバイダのアクセスポイントの接続条件と合うモデムを選択します。

アクセスポイント	モデムの種類
ISDN回線 64kbps（同期）	AtermIW SYNC115
ISDN回線非同期	AtermIW ASYNC115
ISDN回線 128kbps（同期）	AtermIW MP128
PIAFS 32k	AtermIW PIAFS32 (Direct)
	AtermIW PIAFS32 (Compress)
PIAFS 64k	AtermIW PIAFS64

- アクセスポイントの接続条件については、プロバイダにお問い合わせください。
- PIAFS32kまたはPIAFS64kを選択した場合は、第４編「3-1. Windows98/Windows95 で接続する」の「ダイヤルアップアイコンの設定をする」(→P.256) の❶〜❸の設定をしてください。

❾ OK ボタンクリックします。

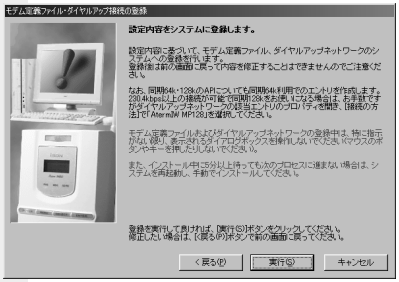
❿ ❷ (→ P.62) に進みます。

設定を行わない

インターネットに接続しない場合、または設定をしない場合に選択します。

❶ 「設定を行わない」を選択し、次へ ボタンをクリックします。

→［モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録］画面が表示されます。



❷ 実行 ボタンをクリックします。

→［終了］画面が表示されます。

❸ ❷ に進みます。

❷ 終了 ボタンをクリックします。

● ユーティリティの起動 ボタンをクリックすると、［IW50らくらくユーティリティ］画面が表示されます。(→ P.173)

プロバイダとの接続を確認する

データポートに接続したパソコンからプロバイダのアクセスポイントに電話をかけ、インターネットに接続できるか確認します。

無線ポートに接続されたパソコンからインターネットに接続する場合は、第４編「ＰＨＳ でインターネットに接続する」(→ P.260）をご覧ください。

❶ デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、続けて「ダイヤルアップネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

→「らくらくウィザード」で設定したプロバイダの名称のついたアイコンが表示されます。

❷ プロバイダ名のアイコンをダブルクリックします。

→アイコンの名称のついている［接続］画面が表示されます。

❸ 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

● 「ユーザー名」（または「ユーザID」）「パスワード」は、プロバイダのユーザ設定情報などの資料に従って入力します。

● 文字は半角の英数字で入力します。大文字、小文字の区別もプロバイダの指示に従ってください。

● 「パスワードを保存」を ☑ にすると入力したパスワードが保存され、次回から入力する必要がなくなります。

4 接続 ボタンをクリックします。

→ パソコンからプロバイダに電話をかけてつながると、ユーザー名とパスワードの確認がおこなわれます。確認されるとプロバイダのホストコンピュータに接続され、パソコンのタスクバーに［ダイヤルアップネットワークモニタ］のアイコンが表示されます。

5 Internet Explorer や Netscape Navigatorなどのブラウザソフトを起動します。

6 見たいホームページのアドレス（URL）を入力してリターンキーを押します。

〈例〉Aterm のホームページ＝
http://aterm.cplaza.ne.jp

● AtermStationのアドレスおよび画面は平成12年1月現在のものです。

7 見終わったら［ファイル］→［終了］を選択し、ブラウザソフトを終了します。

8 タスクバーの 「ダイヤルアップネットワークモニタ」のアイコンをダブルクリックします。

9 切断 ボタンをクリックします。

● ブラウザソフトを終了しても電話はつながったままになっています。インターネットの接続を終了するときは、必ずこの画面の 切断 ボタンをクリックしてください。

→ インターネットの接続が切断されます。

→ 通信回線が正常に切断されると、Atermの液晶ディスプレイに「データセツダン」と約20秒間表示されます。

お願い

● 切断 ボタンをクリックしてもAterm の液晶ディスプレイにデータ通信中のピクトグラム（⇄ B1B2）のどちらかが表示されているときは、通信回線がつながったままになっています。このようなときは Aterm と INS ネット64を接続しているINS回線ケーブルを一度抜いて、通信回線を強制的に切断してください。なお、INS回線ケーブルを抜くとAterm のすべての通信が切断されるので、他の機器が通信（通話）中でないことを確認してからINS 回線ケーブルを抜いてください。

お知らせ

● PHS＋PIAFSデータカードやリモートステーション（AtermRS20 など）を使用してインターネット接続しているときは、Aterm の液晶ディスプレイには「B1B2」の状態しか表示されません。「B1B2」の表示が消えていることを確認してから切断してください。

● 通信先が話し中のときに Aterm のデータポートがおこなう自動発信は、最初の発信から3分間で2回以内に制限されています。この制限を超える再発信は受け付けません。

お知らせ

● Atermをお使いいただくお客様にユーザ登録をお願いしています。ご登録いただいたお客様には電子メールによる新製品情報やバージョンアップ情報、キャンペーン、イベントなどの特典・サービスをご提供しています。登録はAtermのホームページ「Aterm Station」で受け付けておりますので、ぜひご登録ください。

〈ご登録の際にご用意いただくもの〉
○ Aterm本体（機種名、製造番号）
○ 電子メールアドレス
○ Atermを使用するINSネット64の契約者回線番号

Windows98を使っていてブラウザソフトのアイコンがないとき

Windows98をお使いの場合で、デスクトップにブラウザソフトのアイコンがないときは、「Internet Explorer」アイコンを作成しておきます。

❶ デスクトップの「インターネットに接続」アイコンをダブルクリックします。

→「インターネット接続ウィザード」が起動します。

❷ 表示された選択肢の中の「既にインターネット接続の設定が･･･表示しない」を◉にします。

❸ 次へ ボタンをクリックし、終了します。

→ デスクトップの「インターネットに接続」アイコンなくなり、「Internet Explorer」と「Outlook Express」のアイコンが作成されます。

3-3．Macintoshをご利用の方は

らくらくユーティリティをインストールする

1. パソコンを起動します。
2. 添付CD-ROM「AtermIW50シリーズユーティリティ集」をCD-ROMドライブにセットします。
   → デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
3. CD-ROMのアイコンをダブルクリックします。
4. CD-ROMの中の「IW50ユーティリティ」フォルダをハードディスクにコピーします。
   → らくらくユーティリティのインストールが完了します。
5. CD-ROMを取り出します。

電話番号を登録する

らくらくユーティリティで電話番号を登録します。

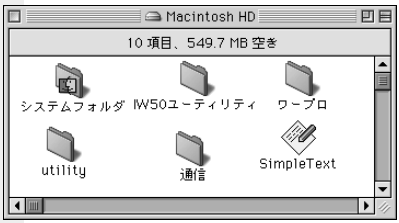
「i・ナンバー」または「ダイヤルインサービス」を契約しているか、どちらも利用しないかによってそれぞれ以下の設定をします。

- 設定項目の説明を見たいときは ヘルプ ボタンをクリックし、調べたい項目を選択するとその説明が表示されます。

i・ナンバーを契約している場合

i・ナンバーを利用する場合は、i・ナンバー情報を登録します。

1. ハードディスクの中の「IW50ユーティリティ」フォルダをダブルクリックします。



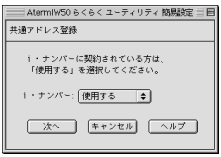
2. 「IW50らくらくユーティリティ」アイコンをダブルクリックします。

→ [AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面が表示されます。

● [AtermIW50 らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面が表示されないときは、P.68 を参照してください。

❸ 共通アドレス登録 ボタンをクリックします。

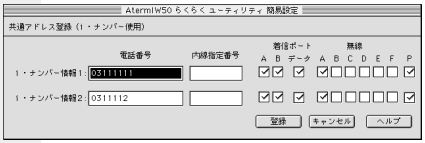
❹ i・ナンバーを「使用する」にして 次へ ボタンをクリックします。



❺ 「INS ネット 64 お申込票」を参照して i・ナンバー情報を入力します。

● 電話番号は半角で入力します。ハイフン － や括弧（ ）は入力する必要はありません。

❻ 各番号で着信するポートを ☑ にし、登録 ボタンをクリックします。

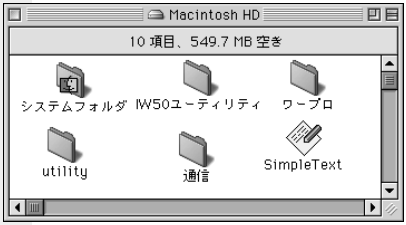


→ [AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面にもどります。

ダイヤルインサービスを契約している場合

契約者回線番号とダイヤルイン番号を登録します。

❶ ハードディスクの中の「IW50ユーティリティ」フォルダをダブルクリックします。



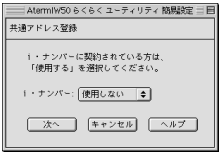
❷ 「IW50 らくらくユーティリティ」アイコンをダブルクリックします。

→ [AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面が表示されます。

● [AtermIW50 らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面が表示されないときは、P.68 を参照してください。

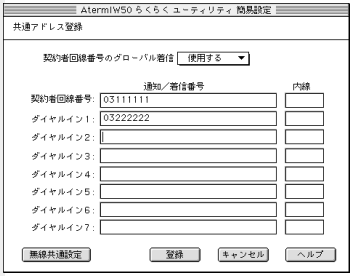
❸ 共通アドレス登録 ボタンをクリックします。

❹ i・ナンバーを「使用しない」にして 次へ ボタンをクリックします。



❺ 「契約者回線番号のグローバル着信」を「使用する」にし、「INS ネット 64 お申込票」を参照して契約者回線番号、ダイヤルイン番号を入力します。

● 電話番号は半角で入力します。ハイフン － や括弧（ ）は入力する必要はありません。



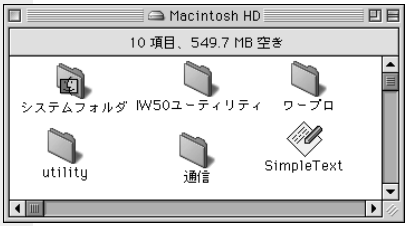
❻ 登録 ボタンをクリックします。

→［AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定］画面にもどります。

i・ナンバー、ダイヤルインを利用しない場合

契約者回線番号を登録します。

❶ ハードディスクの中の「IW50ユーティリティ」フォルダをダブルクリックします。



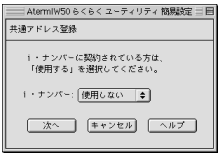
❷ 「IW50 らくらくユーティリティ」アイコンをダブルクリックします。

→［AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定］画面が表示されます。

● ［AtermIW50 らくらくユーティリティ 簡易設定］画面が表示されないときは、P.68 を参照してください。

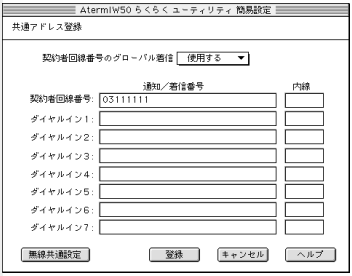
❸ 共通アドレス登録 ボタンをクリックします。

❹ i・ナンバーを「使用しない」にして 次へ ボタンをクリックします。



❺ 「契約者回線番号のグローバル着信」を「使用する」にし、「INS ネット 64 お申込票」を参照して契約者回線番号入力します。

● 電話番号は半角で入力します。ハイフン － や括弧（ ）は入力する必要はありません。



❻ 登録 ボタンをクリックします。

→［AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定］画面にもどります。

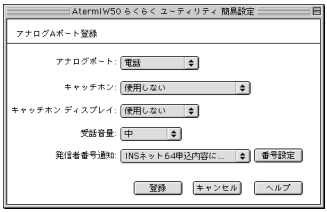
お願い
● Aterm のアナログポートに接続している電話などを使用しているときは、らくらくユーティリティの 登録 ボタンをクリックしないでください。クリックするとエラーとなります。

アナログポートを設定する

アナログ A/B ポートの設定をします。

1 ［AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定］画面の［アナログ A ポート登録］（または［アナログ B ポート登録］）ボタンをクリックします。

2 「INSネット64お申込票」を参照し、アナログ A ポート（アナログ B ポート）の登録をします。



アナログポート

接続している機器を選択します。ファクスおよびファクス付電話機、モデムを接続している場合は「FAX/モデム」を選択します。何も接続していない場合は「使用しない」を選択します。

キャッチホン

INS ネット 64 のキャッチホンを利用する場合は「INS キャッチホン」、Atermの機能を利用する場合は「疑似キャッチホン」を選択します。

キャッチホン・ディスプレイ

「使用する」を選択した場合は、「キャッチホン」を設定し、「情報通知サービス」（→P.195）で「ナンバーディスプレイ」または「ナンバーディスプレイ＋モデムダイヤルイン」を選択します。

受話音量

「小」「中」「大」の中から受話音量を選択します。

発信者番号通知

電話をかけたときに相手に番号を通知するかどうかを指定します。通知する場合は［番号設定］ボタンをクリックし、通知する番号を登録します。

3 ［登録］ボタンをクリックします。

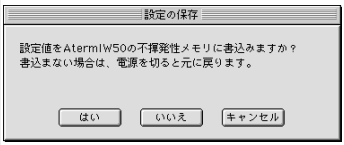
→［AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定］画面にもどります。

設定を保存する

設定した内容をAterm本体に記憶します。

1 ［ファイル］→［終了］を選択します。

→ 保存の確認画面が表示されます。

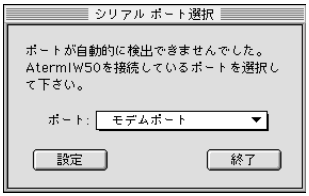


2 ［はい］ボタンをクリックします。

→ 設定内容が Aterm の不揮発性メモリに書き込まれます。

らくらくユーティリティ画面が表示されなかったとき

［AtermIW50 らくらくユーティリティ簡易設定］画面が表示されないとき、または次の画面が表示されたときは以下の手順で確認してください。



1 Aterm の電源が入っているか、パソコンと接続ケーブルが正しく接続されているか確認します。

2 Atermの接続されているポートを選択し、［終了］ボタンをクリックします。

3 再度「IW50 らくらくユーティリティ」アイコンをダブルクリックして起動します。

インターネットに接続する

インターネットの接続に必要な、TCP/IP、モデム、リモートアクセス（PPP）の設定をします。ここではMac OS 7.6以上に添付されている「Open Transport PPP」を使って設定する方法を説明します。

- Power Macintosh G3には、インターネットの接続を簡単におこなうための「接続アシスタント」が標準でインストールされています。接続アシスタントの操作方法などの詳しい内容は、Power Macintosh G3のヘルプなどを参照してください。

■ Mac OS 7.6以上をお使いの場合

○ TCP/IPソフトウェアが添付されています。[アップル]メニュー →［コントロールパネル］に「TCP/IP」が入っていることを確認してください。入っていない場合はパソコンに添付されているCD-ROMから、カスタムインストールでTCP/IPをインストールしてください。

○ Open Transport PPPが標準で添付されています。［アップル］メニュー→［コントロールパネル］に「PPP」が入っていないときは、パソコンに添付されているCD-ROMからインストールしてください。

○ 添付CD-ROM「AtermIW50シリーズユーティリティ集」の中の「CCLファイル」フォルダ内の「CCLファイル」を、パソコンのハードディスクの「システム」フォルダ→「機能拡張」フォルダ→「Modem Scripts」フォルダの中にコピーします。
同名の古いファイルがある場合は、上書きします。

■ Performaシリーズをお使いの場合

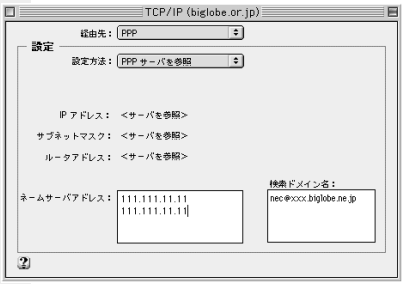
○［アップル］メニュー→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］で「A/ROSE」のチェックマークをはずさないと、ソフトウェアが動作しない場合があります。機能拡張マネージャについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

○ モデム内蔵の機種をお使いの場合は、［アップル］メニュー→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］で内蔵モデムに関するチェックをはずさないとモデムポートが機能しない場合があります。うまくいかない場合は、モデムポートの代わりにプリンタポートにAtermを接続してください。詳細は、アップルカスタマーアシスタンスセンターにお問い合わせください。

TCP/IPの設定

プロバイダに接続する時の条件を設定します。

❶ メニューバーの （アップルメニュー）から［コントロールパネル］→［TCP/IP］を選択します。
→［TCP/IP］画面が表示されます。



（画面はバージョンによって変わることがあります。以下同じ）

❷「経由先」のプルダウンメニューから「PPP」を選択します。

❸「設定方法」のプルダウンメニューから「PPPサーバを参照」を選択します。

❹ 契約しているプロバイダのユーザ設定情報などの資料に従って、「ネームサーバアドレス」にDNSのIPアドレスを入力します。

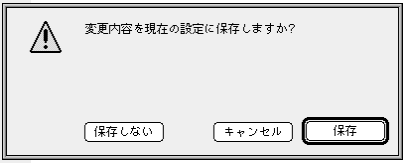
1行目にはプライマリ、2行目にはセカンダリを入力します。

- 文字は半角の英数字で入力します。大文字、小文字の区別もプロバイダの指示に従ってください。

5 「検索ドメイン名」にドメイン名を入力します。

6 ［TCP/IP］画面のクローズボックスをクリックします。

7 保存 ボタンをクリックします。



→ TCP/IP の設定が終了します。続けてモデムの設定をします。

モデムの設定

1 メニューバーの （アップルメニュー）から［コントロールパネル］→［モデム］を選択します。

→［モデム］画面が表示されます。

2 「経由先」のプルダウンメニューから「モデムポート」を選択します。

● パソコンのプリンタポートにAtermを接続しているときは「プリンタポート」を選択してください。

3 「モデム」のプルダウンメニューからモデムの種類を選択します。プロバイダのアクセスポイントの接続条件と合うモデムを選択します。

アクセスポイントの条件	モデムの種類
非同期57.6k	NEC AtermIW 57.6k
同期128k	NEC AtermIW MP
同期64k	NEC AtermIW 64kPPP
PIAFS 32k	NEC AtermIW 32kPIAFS
PIAFS 64k	NEC AtermIW 64kPIAFS

● アクセスポイントの接続条件については、プロバイダにお問い合わせください。

4 ［モデム］画面のクローズボックスをクリックします。

5 保存 ボタンをクリックします。

→ モデムの設定が終了します。続けてリモートアクセス（または PPP）の設定をします。

お知らせ

● デュアルリンクワイヤレス通信をご利用になる場合は、Free PPP などを使用し AT コマンドで デュアルリンクワイヤレス通信モードに設定してください。(→ P.137)

リモートアクセス（またはPPP）の設定

ここではリモートアクセス（Mac OS 8.5）を例に説明します。Mac OS 8.0をお使いの場合は「リモートアクセス」を「ＰＰＰ」に置き換えてお読みください。

❶ メニューバーの （アップルメニュー）から［コントロールパネル］→［リモートアクセス］（または［PPP］）を選択します。

→［リモートアクセス］（または［PPP］）画面が表示されます。

❷ 「登録利用者」が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、◉にします。

❸ 「名前」（ユーザID）にユーザID、「パスワード」にパスワードを入力します。

- 「ユーザID」（または「ユーザ名」）「パスワード」は、プロバイダのユーザ設定情報などの資料に従って入力します。
- 文字は半角の英数字で入力します。大文字、小文字の区別もプロバイダの指示に従ってください。
- 「パスワードを保存」を ☑ にすると入力したパスワードが保存され、次回から入力する必要がなくなります。

❹ 「電話番号」にプロバイダのアクセスポイントの中で最寄りの電話番号を半角で入力します。

- ハイフン － や括弧（　）は入力する必要はありません。

❺ オプション ボタンをクリックします。

→［オプション］画面が表示されます。

❻ ［接続］タブをクリックします。

❼ 「操作しないまま 10 分間が過ぎたら接続を切る」を ☑ にしておきます。

❽ ［プロトコル］タブをクリックします。

❾ 「使用プロトコル」を「自動」にします。

- 「使用プロトコル」が「自動」になっている状態で接続がうまくいかないときは、「使用プロトコル」を「PPP」に変更してください。「PPP」に変更すると、次の画面が表示されます。

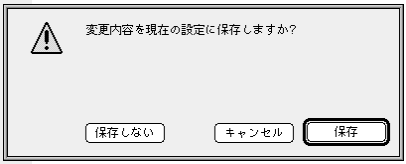
●「モデム内蔵の誤り訂正と圧縮を使う」、「TCPヘッダ圧縮を使う」をそれぞれ ☑ にしておきます。

10 OK ボタンをクリックします。

→［リモートアクセス］（または［PPP］）画面にもどります。

11 ［リモートアクセス］（または［PPP］）画面のクローズボックスをクリックします。

12 保存 ボタンをクリックします。



→リモートアクセス（またはPPP）の設定が終了します。

プロバイダとの接続を確認する

データポートに接続したパソコンからプロバイダのアクセスポイントに電話をかけ、インターネットに接続できるか確認します。

1 メニューバーの （アップルメニュー）から［コントロールパネル］→［リモートアクセス］（または［PPP］）を選択します。

→［リモートアクセス］（または［PPP］）画面が表示されます。

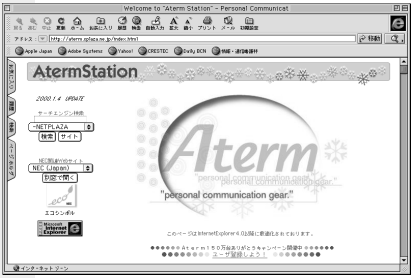
2 接続 ボタンをクリックします。

→パソコンからプロバイダに電話をかけてつながると、名前（ユーザID）とパスワードの確認がおこなわれます。確認されるとプロバイダのホストコンピュータに接続され、次の画面が表示されます。

❸ Internet ExplorerやNetscape Navigatorなどのブラウザソフトを起動します。

❹ 見たいホームページのアドレス（URL）を入力してリターンキーを押します。

〈例〉 Atermのホームページ＝
http://aterm.cplaza.ne.jp



● AtermStationのアドレスおよび画面は平成12年1月現在のものです。

❺ 見終わったら［ファイル］→［終了］を選択し、ブラウザソフトを終了します。

❻ ［リモートアクセス］（または［PPP］）画面の 接続を切る ボタンをクリックしてから、クローズボックスをクリックします。

● ブラウザソフトを終了しても電話はつながったままになっています。インターネットの接続を終了するときは、必ずこの画面の 接続を切る ボタンをクリックしてください。

→インターネットの接続が切断されます。

→通信回線が正常に切断されると、Atermの液晶ディスプレイに「データセツダン」と約20秒間表示されます。

お願い

● 接続を切る ボタンをクリックしてもAtermの液晶ディスプレイにデータ通信中のピクトグラム（⇄ B1B2）のどちらかが表示されているときは、通信回線がつながったままになっています。このようなときはAtermとINSネット64を接続しているINS回線ケーブルを一度抜いて、通信回線を強制的に切断してください。なお、INS回線ケーブルを抜くとAtermのすべての通信が切断されるので、他の機器が通信（通話）中でないことを確認してからINS回線ケーブルを抜いてください。

お知らせ

● PHS＋PIAFSデータカードやリモートステーション（AtermRS20など）を使用してインターネットに接続しているときは、Atermの液晶ディスプレイには「B1B2」の状態しか表示されません。「B1B2」の表示が消えていることを確認してから切断してください。

● 通信先が話し中のときにAtermのデータポートがおこなう自動発信は、最初の発信から3分間で2回以内に制限されています。この制限を超える再発信は受け付けません。

● Atermをお使いいただくお客様にユーザ登録をお願いしています。ご登録いただいたお客様には電子メールによる新製品情報やバージョンアップ情報、キャンペーン、イベントなどの特典・サービスをご提供しています。登録はAtermのホームページ「Aterm Station」で受け付けておりますので、ぜひご登録ください。

〈ご登録の際にご用意いただくもの〉
○ Aterm本体（機種名、製造番号）
○ 電子メールアドレス
○ Atermを使用するINSネット64回線の契約者番号

3-4．電話機のみをご利用の方は

Atermの液晶ディスプレイを見ながら、接続機器の種類とi・ナンバーまたはダイヤルインの設定をします。

接続機器の設定をする

無線ポートに接続している機器を設定します。アナログポートの設定は「2-4．使用しないアナログポートを設定する」（→ P.45）で設定済です。

設定

［Aterm液晶ディスプレイ］

❶ 電話機の受話器を上げます。

```
セッテイホ゛ ートセンタク
```

❷ ＊ ＊ 7 ＊ を押し、無線ポートの設定を選択します。

- 「ポートシヨウチュウ　セッテイフカ」と表示されたときは、通話中または通信中のため設定できません。通話が終わってから操作してください。

❸ 設定するポートを指定します。

1	無線Aポート	4	無線Dポート
2	無線Bポート	5	無線Eポート
3	無線Cポート	6	無線Fポート

```
PHS ー A　ニセッテイ
```

〈例〉 1 を押したとき

❹ ＊ 0 1 ＊ を押します。

```
アナログ゛ ソウチ
0：デ゛ ンワ
```

❺ 接続している通信機器を指定します。

- 0　電話（PHS）
- 1　FAX/モデム
- 2　接続しない

❻ # を押します。

```
セッテイホ゛ ートセンタク
```

- 他のポートを設定するときは、❸にもどります。

❼ # を押します。

❽ 受話器を置きます。

```
セッテイシマシタ
```

約5秒間表示されます

i・ナンバーを契約している場合

INS ネット 64 の「i・ナンバー」を契約している場合は、以下の設定をします。

発信者通知番号を設定する

電話をかけたときに相手に通知する電話番号を各アナログポートに設定します。アナログポートに接続されているどの電話機からでも設定できます。

❶ 電話機の受話器を上げます。

❷ ＊ ＊【下記】＊ を押します。

- 1 アナログポート
- 7 無線ポート

［Aterm 液晶ディスプレイ］

```
セッテイホﾟ ートセンタク
```

❸ 設定するポートを指定します。

■ **アナログポートの設定のとき**

- 1 アナログ A ポート
- 2 アナログ B ポート

```
アナログﾞ B ニセッテイ
```

〈例〉2 を押したとき

■ 無線ポートの設定のとき

- 1 無線 A ポート
- 2 無線 B ポート
- 3 無線 C ポート
- 0 全ポート共通
- 4 無線 D ポート
- 5 無線 E ポート
- 6 無線 F ポート

❹ ＊ 9 5 を押します。

```
ハツi・ナンバー
ＮＯ．１
```

❺ ＊ を押します。

● 表示されている設定値を変更しない場合は、＊ を押さずに ❼ へ進みます。

❻ 通知する電話番号（i・ナンバー情報）を押します。

- 1 i・ナンバー情報 1
- 2 i・ナンバー情報 2

❼ # を押します。

● 他のポートを設定するときは、❸にもどります。

```
セッテイホﾟ ートセンタク
```

❽ # を押します。

```
セッテイシマシタ
```

約 5 秒間表示されます

❾ 受話器を置きます。

電話番号を登録する

INS ネット 64 で契約した電話番号（i・ナンバー情報）を登録し、アナログポートと無線ポートに電話番号を割り当てます。接続されているどの電話機からでも設定できます。

❶ 電話機の受話器を上げます。

❷ ＊ ＊ 1 ＊ を押します。

［Aterm 液晶ディスプレイ］

```
セッテイホ゜ ートセンタク
```

❸ 5 を押します。

```
キョウツウ　セッテイ　2
```

❹ ＊ 9 0 を押してから 1 または 2 を押します。

1　i・ナンバー情報 1 を登録
2　i・ナンバー情報 2 を登録

● 表示されている電話番号を変更しない場合は、# を押して❺に進みます。

❺ ＊ を押してから登録する電話番号を押します。

〈例〉03-1234-5678 の場合
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 と押す

```
ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ　1：
０３１２３４５６７８_
```

● 番号を間違えて押したときは、＊ ＊ を押すと末尾の 1 文字が削除できます。
● 液晶ディスプレイの表示桁数（12 桁）より多い番号を押したときは、先頭に◀が付いて画面が切り替わります。＊ 1 を押すと右端に▶が表示され、1～11 桁目が表示されます。もう一度 ＊ 1 を押すと 12 桁目以降の表示にもどります。

❻ # を押します。

```
i･ナイセンシテイ　　1：
_
```

❼ # を押します。

```
セッテイホ゜ ートセンタク
```

● 他の i・ナンバーを登録するときは、❸にもどります。

❽ # を押します。

```
セッテイシマシタ
```

約 5 秒間表示されます

❾ 受話器を置きます。

次に各アナログポートと無線ポートにi・ナンバーを割り当てます。割り当ては以下の手順をくり返しおこなって、各ポートごとに設定します。

10 もう一度受話器を上げます。

11 ＊ ＊【下記】＊ を押します。

1 アナログポート
7 無線ポート

セッテイホ゜ートセンタク

12 設定するポートを指定します。

■ **アナログポートの設定のとき**

1 アナログ A ポート
2 アナログ B ポート

アナログ゛ A ニセッテイ

〈例〉1 を押したとき

■ **無線ポートの設定のとき**

1 無線 A ポート
2 無線 B ポート
3 無線 C ポート
0 全ポート共通
4 無線 D ポート
5 無線 E ポート
6 無線 F ポート

13 ＊ 9 4 を押します。

チャクi・ナンバー
NO.1

14 ＊ を押します。

チャクi・ナンバー
NO.＿

15 着信させるi・ナンバー情報の番号を押します。

1 i・ナンバー情報 1 を登録
2 i・ナンバー情報 2 を登録

チャクi・ナンバー
NO.1,＿

〈例〉1 を押したとき

16 # を押します。

● 使用しているアナログポート／無線ポートはすべて割り当て設定をおこなってください。11にもどってくり返し設定できます。

セッテイホ゜ートセンタク

17 無線ポートの設定の場合は、次の設定を必ず、引き続きおこなってください。

＊ ＊ 7 ＊ 0 ＊ 9 4 ＊ ＊ #

18 # を押します。

セッテイシマシタ

約 5 秒間表示されます

19 受話器を置きます。

i・ナンバー着信を設定する

「i・ナンバーを使用する」に設定します。接続されているどの電話機からでも設定できます。

1. 電話機の受話器を上げます。
2. ＊ ＊ 1 ＊ を押します。

［Aterm 液晶ディスプレイ］

```
セッテイホ゜ートセンタク
```

3. 4 ＊ 7 6 ＊ を押します。
4. i・ナンバーを使用するかしないかを設定します。
   - 0 使用しない
   - 1 使用する

```
i・ナンバー
1：スル
```

5. ＃ ＃ を押します。

```
セッテイシマシタ
```

約 5 秒間表示されます

6. 受話器を置きます。

ダイヤルインを契約している場合

INS ネット 64 の「ダイヤルインサービス」を契約している場合は、以下の設定をします。

発信者通知番号を設定する

電話をかけたときに相手に通知する電話番号を指定します。ポートごとに設定します。

設定

1. 電話機の受話器を上げます。

［Aterm 液晶ディスプレイ］

2. ＊ ＊【下記】＊ を押し、アナログポートの設定か無線ポートの設定かを選択します。
   - 1　アナログポート
   - 7　無線ポート

```
セッテイホ゜ートセンタク
```

3. 設定するポートを指定します。

   ■ **アナログポートの設定のとき**
   - 1　アナログ A ポート
   - 2　アナログ B ポート

   ■ **無線ポートの設定のとき**
   - 1　無線 A ポート
   - 2　無線 B ポート
   - 3　無線 C ポート
   - 0　全ポート共通
   - 4　無線 D ポート
   - 5　無線 E ポート
   - 6　無線 F ポート

```
アナログ゛ B　ニセッテイ
```

〈例〉2 を押したとき

4. ＊ 9 2 を押します。

```
ハツアト゛　　　　　　　　　：
```

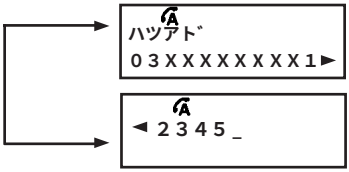
5. ＊ を押します。
   - 表示されている設定値を変更しない場合は、＊ を押さずに 7 へ進みます。

6. 通知する電話番号を押します。
   〈例〉03-1234-5678の場合
   0 3 1 2 3 4 5 6 7 8と押す

```
ハツアト゛
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 _
```

   - 番号を間違えて押したときは、＊ ＊ を押すと末尾の 1 文字が削除できます。
   - 液晶ディスプレイの表示桁数（12 桁）より多い番号を押したときは、先頭に◀ が付いて画面が切り替わります。＊ 1 を押すと右端に▶ が表示され、1 ～ 11 桁目が表示されます。もう一度 ＊ 1 を押すと 12 桁目以降の表示にもどります。

〈例〉電話番号
03XXXXXXXX12345の場合
● ＊ 1 を押すごとに切り替わります。



❼ # を押します。
● 他のポートを設定するときは、❸にもどります。

セッテイホﾟートセンタク

❽ # を押します。

セッテイシマシタ

約5秒間表示されます

❾ 受話器を置きます。

電話番号を割り当てる

契約者回線番号とダイヤルイン番号を着信番号リストに登録し、各ポートに電話番号を割り当てます。

設定

❶ 電話機の受話器を上げます。

［Aterm液晶ディスプレイ］

❷ ＊ ＊ 1 ＊ を押します。

セッテイホﾟートセンタク

❸ 4 を押します。

キョウツウ　セッテイ　1

❹ ＊ 8 を押してから着信番号リストの番号を押します。
0 番号0･･･契約者回線番号を登録する
1 番号1･･･ダイヤルイン番号1を登録する
〜 〜 〜
7 番号7･･･ダイヤルイン番号7を登録する
● 登録済で電話番号を変更しない場合は、❻へ進みます。

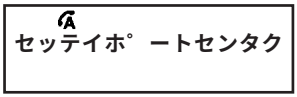
❺ ＊ を押してから登録する電話番号を押します。

チャクアトﾞ　0：
0312345678_

● 番号を間違えて押したときは、[*] [*] を押すと末尾の 1 文字が削除できます。
● 液晶ディスプレイの表示桁数（12桁）より多い番号を押したときは、先頭に◀が付いて画面が切り替わります。[*] [1] を押すと右端に▶が表示され、1～11桁目が表示されます。もう一度 [*] [1] を押すと 12 桁目以降の表示にもどります。

❻ [#] を押します。

❼ [#] を押します。
● 他の着信番号リストに登録するときは、❸にもどります。



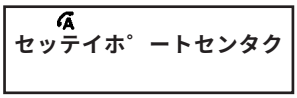
❽ [#] を押します。

約 5 秒間表示されます

❾ 受話器を置きます。

❿ もう一度受話器を上げます。

⓫ [*] [*]【下記】[*] を押し、アナログポートの設定か無線ポートの設定かを選択します。

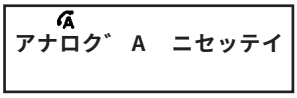


[1] アナログポート
[7] 無線ポート

⓬ 設定するポートを指定します。

■ **アナログポートの設定のとき**

[1] アナログ A ポート
[2] アナログ B ポート

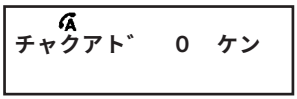


〈例〉 [1] を押したとき

■ **無線ポートの設定のとき**

[1] 無線 A ポート　[4] 無線 D ポート
[2] 無線 B ポート　[5] 無線 E ポート
[3] 無線 C ポート　[6] 無線 F ポート
[0] 全ポート共通

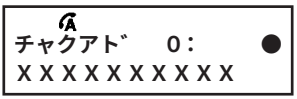
⓭ [*] [9] [1] を押します。



⓮ [*] を押します。

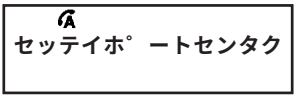
⑮ 割り当てる電話番号を表示し、0 を押して割り当てます。

0	表示されている電話番号を割り当てる
1	電話番号の続き（12桁以降）を表示する
2	割り当て状況を表示する
3	次の番号を表示する
4	前の番号を表示する



→割り当てると、液晶ディスプレイ右端に「●」が表示されます。

⑯ # を押します。
● 他のポートに割り当てるときは、⑫ にもどります。



⑰ # を押します。

約 5 秒間表示されます

⑱ 受話器を置きます。

お願い
● 個別着信は 1 つの電話番号で 1 つの無線ポートを呼び出すので、同じ電話番号を複数の無線 A ～ F ポートに割り当てないでください。同じ番号を設定すると A ～ F の順に設定が優先され、1 つの無線ポートだけを呼び出します。

アナログポートのグローバル着信を設定する

契約者回線番号で呼び出すアナログポートは「グローバル着信を利用する」に設定します。
契約者回線番号で呼び出さないアナログポートは「グローバル着信を利用しない」に設定します。

設定

❶ 電話機の受話器を上げます。

［Aterm 液晶ディスプレイ］

❷ ＊ ＊ 1 ＊ を押します。

```
セッテイホ゛ートセンタク
```

❸ アナログポートを選択します。
- 1　アナログ A ポート
- 2　アナログ B ポート

```
アナログ゛ A　ニセッテイ
```

〈例〉1 を押したとき

❹ ＊ 0 5 ＊ を押します。

```
グローハ゛ルチャクシン
0：スル
```

❺ グローバル着信を利用するかしないかを指定します。
- 0　利用する
- 1　利用しない

```
グローハ゛ルチャクシン
0：スル
```

〈例〉0 を押したとき

❻ # を押します。

```
セッテイホ゛ートセンタク
```

● 他のアナログポートを設定するときは、❸にもどります。

❼ # を押します。

```
セッテイシマシタ
```

約 5 秒間表示されます

❽ 受話器を置きます。

無線ポートのグローバル着信を設定する

契約者回線番号で呼び出す無線ポートを設定します。アナログポートとは異なり、無線ポートではすべての無線ポートを呼び出す「一斉呼出」か、どれか１つのポートを呼び出す「個別呼出」かの設定になります。

1. 電話機の受話器を上げます。

［Aterm 液晶ディスプレイ］

2. ＊ ＊ 7 ＊ を押します。

```
セッテイホ゜ートセンタク
```

3. 0 を押します。

```
キョウツウ　セッテイ　1
```

4. ＊ 2 1 を押します。

```
グ゛ローハ゛ルチャクシン
0：ＰＨＳイッセイ
```

5. ＊ を押したあと呼び出す無線ポートを選択します。

   1　無線 A ポート
   2　無線 B ポート
   3　無線 C ポート
   4　無線 D ポート
   5　無線 E ポート
   6　無線 F ポート
   0　全ポート（一斉呼出）

```
グ゛ローハ゛ルチャクシン
1：ＰＨＳ－Aホ゜ート
```

〈例〉1 を押したとき

● 設定を変更しないときは、6に進みます。

6. # を押します。

```
セッテイホ゜ートセンタク
```

7. # を押します。

```
セッテイシマシタ
```

約 5 秒間表示されます

8. 受話器を置きます。